

Senju Service Manager 2024.0.0

外部ツール連携ガイド
-ExternalToolsCollaborationGuide-

株式会社野村総合研究所

Nomura Research Institute, Ltd.

- 本書は、Senju Service Manager システムバージョン 2024.0.0 の Senju Service Automation 機能について説明します。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- Senju Service Manager システムバージョン 2024.0.0 の Senju Service Automation 機能に対応する Senju Enterprise Navigator、Senju DevOperation Conductor のシステムバージョンについては、Senju Service Manager のリリースノートの稼働環境を参照してください。
- 本書は、Senju Service Manager システムをインストールまたは利用する前に一読して下さい。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- 本書に記載した内容は予告無く変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断でコピーすることは法律で禁止されています。
- Senju DevOperation Conductor、EX 千手/EXSENJU、千手/SENJU および e-千手/e-SENJU は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。

Adobe 及び Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。

ORACLE は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Developer/2000 は、米 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Applications は、オラクル社の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

iPhone は Apple Inc.の登録商標です。

その他のすべての会社名や製品名は、それぞれの会社の商標、登録商標または、サービスマークです。

- 本書では、便宜上 Microsoft 社の Windows ファミリーを Windows と表記しています。また、特に断りが無い場合、Windows NT とは”Windows NT Workstation””Windows NT Server”を、Windows 2000 とは”Windows 2000 Professional””Windows 2000 Server””Windows 2000 Advanced Server”を、Windows XP とは”Windows XP Professional”を、Windows Server 2003 とは”Windows Server 2003 Standard Edition””Windows Server 2003 Enterprise Edition”を、Windows Vista とは”Windows Vista Ultimate””Windows Vista Business”を、Windows 7 とは”Windows 7 Ultimate””Windows 7 Professional”を、Windows 8.1 とは”Windows 8.1 Pro”を、Windows 10 とは”Windows 10 Pro”を、Windows Server 2008 とは”Windows Server 2008 Standard Edition””Windows Server 2008 Enterprise Edition”、Windows Server 2012 とは”Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition”を、Windows Server 2016 とは”Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition”を、Windows Server 2019 とは”Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition”、”Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition”を、Windows Server 2022 とは”Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition”、”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition”、”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition”を指します。
- 本書では、便宜上、Senju Service Manager を SSM、Senju Enterprise Navigator を SEN と表記している箇所があります。

発行日 2024年 6月 1日

第 1.0.0 版

著作、編集、発行 **株式会社野村総合研究所**

クラウドサービス事業本部 クラウド運用ソリューション事業部

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-4-1 横浜野村ビル

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd.

本マニュアルの一部又は全部を無断で複製する事を禁じます。

Senju Service Manager 2024.0.0	1-1
1 Senju Service Automation 連携機能ガイド	1-1
1.1 Senju Service Automation 機能の概要	1-1
1.2 事前準備	1-2
1.2.1 Senju DevOperation Conductor の設定	1-2
1. ランブック自動実行を利用する場合	1-2
2. フレーム・ネット・ジョブ一時停止、スキップと解除、起動時刻変更、業務グループ起動時刻変更を利用する場合	1-2
3. Senju DevOperation Conductor カスタム監視モジュールを利用する場合	1-3
1.2.2 Senju Enterprise Navigator の設定	1-4
1. Senju DevOperation Conductor の連携設定	1-4
2. Senju Service Automation 設定	1-4
1.2.3 Senju Service Manager の設定	1-5
1. 職責の設定	1-5
2. 項目の表示設定	1-6
3. 画面ポリシーの設定	1-6
4. 接続先名の設定	1-7
5. 承認フローの設定	1-7
6. ブック名の設定	1-8
7. ランブックテンプレートの登録	1-8
8. 一時停止解除実施者のメール送信設定	1-8
9. 業務グループ定義の設定	1-9
10. 重複データの存在チェックの設定	1-9
1.3 Senju Service Manager の操作フロー	1-10
1.3.1 凡例	1-10
1.3.2 依頼を登録し連携を行う	1-11
1. コマンド実行	1-11
2. ランブック実行	1-11
3. フレーム・ネット・ジョブ一時停止	1-12
4. フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除	1-12
5. ネット・ジョブ起動時刻変更	1-12
6. 業務グループ起動時刻変更	1-13
1.3.3 依頼の連携状況を確認する	1-14
1. プロセス管理から依頼の連携状況を確認する	1-14
2. フレーム・ネット・ジョブ申請一覧から依頼の連携状況を確認する	1-14
3. コマンドから依頼の連携状況を確認する	1-14
1.4 Senju Service Manager の操作手順	1-15
1.4.1 コマンド実行	1-15
1. 依頼を仮登録する	1-15
2. 依頼を仮更新する	1-17
3. 依頼を仮削除する	1-17
4. 依頼を確認する	1-18
5. 依頼を一覧で確認する	1-20
6. 依頼を登録する	1-21
7. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-22

8. 依頼をキャンセルする	1-22
1.4.2 ランブック実行	1-23
1. 依頼を仮登録する	1-23
2. ランブック定義をテンプレートからコピーする	1-26
3. 依頼を仮更新する	1-27
4. 依頼を仮削除する	1-27
5. 依頼を確認する	1-27
6. 依頼を一覧で確認する	1-27
7. 依頼を登録する	1-28
8. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-28
9. 依頼をキャンセルする	1-28
10. 依頼をコピー登録する	1-28
1.4.3 フレーム・ネット・ジョブ一時停止	1-30
1. 依頼を仮登録する	1-30
2. 既に登録済みの依頼か確認する	1-33
3. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する	1-33
4. 依頼を仮更新する	1-33
5. 依頼を仮削除する	1-33
6. 依頼を確認する	1-33
7. 依頼を一覧で確認する	1-34
8. 依頼を登録する	1-34
9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-34
10. 依頼をキャンセルする	1-34
11. 一時停止が実行される（解除指示待ちの状態に変化）	1-35
12. 一時停止解除を指示する	1-35
13. 連携ステータス（個別）を手動で変更する	1-36
14. 一時停止解除を実施する	1-37
1.4.4 フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除	1-38
1. 依頼を仮登録する	1-38
2. 既に登録済みの依頼か確認する	1-40
3. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する	1-40
4. 依頼を仮更新する	1-41
5. 依頼を仮削除する	1-41
6. 依頼を確認する	1-41
7. 依頼を一覧で確認する	1-41
8. 依頼を登録する	1-41
9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-41
10. 連携ステータス（個別）を手動で変更する	1-41
11. 依頼をキャンセルする	1-42
1.4.5 ネット・ジョブ起動時刻変更	1-43
1. 依頼を仮登録する	1-43
2. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する	1-44
3. 依頼を仮更新する	1-44
4. 依頼を仮削除する	1-44
5. 依頼を確認する	1-44
6. 依頼を一覧で確認する	1-45
7. 依頼を登録する	1-45

8. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-45
9. 依頼をキャンセルする	1-45
1.4.6 業務グループ起動時刻変更	1-46
1. 依頼を仮登録する	1-46
2. 依頼を仮更新する	1-50
3. 依頼を仮削除する	1-50
4. 依頼を確認する	1-50
5. 依頼を一覧で確認する	1-52
6. 業務グループ毎の依頼を確認する	1-52
7. 運用日付単位の依頼を一覧で確認する	1-53
8. 依頼を登録する	1-54
9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う	1-54
10. 連携ステータス（個別）を手動で変更する	1-54
11. 依頼をキャンセルする	1-54
12. 変更起動時刻の再変更起動時刻を登録する	1-55
13. 変更起動時刻の再変更の依頼を登録する	1-57
14. 変更起動時刻の再変更の依頼をキャンセルする	1-57
15. 変更起動時刻の再変更の依頼を却下する	1-58
1.4.7 SSA 連携項目共通の操作	1-59
1. 依頼をキャンセルする	1-59
2. 依頼を一括でキャンセルする	1-61
3. 依頼を一括でクローズする	1-61
4. 連携ステータス（個別）を手動で変更する	1-62
5. 実行システムの情報をコピーする	1-63
6. 存在する実行システムに対する依頼か確認する	1-67
1.4.8 プロセス管理	1-69
1.4.8.1 プロセス詳細	1-69
1.4.8.2 プロセス一覧	1-69
1. 自動リロード機能	1-69
1.4.9 外部連携（Senju Family 連携）	1-71
1.4.9.1 フレーム・ネット・ジョブ申請一覧	1-71
1. 帳票出力	1-75
2. 検索条件の保存	1-75
3. 自動リロード機能	1-75
1.4.9.2 業務グループ定義	1-76
1. 業務グループ定義を登録	1-77
2. 業務グループ定義を編集	1-79
3. 業務グループ定義を削除	1-81
4. 業務グループ定義をコピーする	1-81
1.4.10 機能別（外部ツール連携）	1-82
1.4.10.1 ランブックテンプレート管理	1-82
1. テンプレートを登録	1-83
2. テンプレートを編集	1-84
3. テンプレートを削除	1-84
1.4.11 コマンドリファレンス	1-85
1.4.11.1 データ出力コマンド（sjSPU_ExportData_Ex.exe）	1-85
1.5 資料集	1-86

1.5.1	用語説明	1-86
1.	文章中の表記	1-86
2.	Senju Service Manager の Web 画面項目	1-87
1.5.2	連携ステータスの説明	1-91
1.	連携ステータス（個別）	1-91
2.	連携ステータス（業務グループ）	1-94
3.	連携ステータス	1-95
4.	補助資料 1：連携ステータス（業務グループ）更新仕様一覧	1-96
5.	補助資料 2：連携ステータス更新仕様一覧	1-97
1.5.3	連携フロー	1-98
1.	コマンド実行	1-99
2.	ランブック実行	1-99
3.	フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除	1-100
4.	フレーム・ネット・ジョブ一時停止	1-100
5.	ネット・ジョブ起動時刻変更	1-101
6.	業務グループ起動時刻変更	1-101
7.	（共通）連携処理	1-102
8.	（共通）依頼実行処理	1-103
1.5.4	操作時のチェック仕様	1-104
1.	依頼の仮登録時の入力チェック	1-104
2.	依頼の仮登録時の運用日付チェック	1-104
3.	依頼の仮登録時の重複チェック	1-105
4.	依頼の本登録時の入力チェック	1-105
5.	依頼の本登録時の運用日付チェック	1-105
6.	依頼の本登録時の重複チェック	1-105
7.	承認申請時の運用日付チェック	1-106
8.	承認申請時のリミット日時チェック	1-106
9.	承認申請時の重複チェック	1-107
10.	承認フロー完了時のリミット日時チェック	1-107
2	Senju Enterprise Navigator ESP オプション連携機能ガイド	2-1
2.1	ESP 連携機能の概要	2-1
2.2	事前準備	2-2
2.2.1	Senju Service Manager の設定	2-3
1.	職責の設定	2-3
2.	項目の表示設定	2-3
3.	項目の名称設定	2-3
4.	項目の入力文字制御の設定	2-4
5.	画面ポリシーの設定	2-5
6.	接続先名の設定	2-5
7.	ESP システムマスタの設定	2-5
8.	承認フローの設定	2-6
2.3	Senju Service Manager の操作フロー	2-7
2.3.1	凡例	2-7
2.3.2	案件を登録し連携を行う	2-8
1.	障害メッセージ制御	2-8
2.4	Senju Service Manager の操作手順	2-9

- 2.4.1 障害メッセージ制御..... 2-9
 - 1. ノードを選択する 2-9
 - 2. 障害メッセージを登録したレコードを登録し、切り分け条件チェックを行う 2-10
 - 3. 障害メッセージを登録したレコードを承認申請し、切り分け条件チェックを行う 2-10
 - 4. 障害メッセージを登録したレコードの承認申請を承認し、切り分け条件登録を行う 2-10
 - 5. 切り分け条件に一致したレコードの無効化処理を手動で行う 2-11
 - 6. 切り分け条件に一致したレコードの有効化処理を手動で行う 2-13
 - 7. 障害メッセージ情報をコピー登録する 2-14
- 2.4.2 プロセス管理..... 2-15
 - 2.4.2.1 プロセス一覧 2-15
- 2.5 資料集 2-16
 - 2.5.1 用語説明 2-16
 - 1. 文章中の表記..... 2-16
 - 2. Senju Service Manager の Web 画面項目 2-17
 - 2.5.2 連携フロー 2-19
 - 1. 障害メッセージ制御..... 2-20
 - 2.5.3 操作時のチェック仕様 2-22
 - 1. 切り分け条件チェック 2-22
 - 2. 切り分け条件登録チェック 2-22
 - 3. 切り分け条件無効化チェック 2-23
 - 4. 切り分け条件有効化チェック 2-23
- 3 Senju Quick Assistant 連携機能ガイド..... 3-1
 - 3.1 Senju Quick Assistant 連携機能の概要 3-1
 - 3.2 Senju Quick Assistant 連携機能 利用ガイド 3-1

Senju Service Manager のデータベースには ORACLE 社の Oracle、または、PostgreSQL を使用します。本マニュアルの各章の記載内容について、サポート状況をデータベース毎に記します。下記の表において「×」となっている章は PostgreSQL ではサポート対象外です。

章番号	Oracle	PostgreSQL
1 Senju Service Automation 連携機能ガイド	○	○
2 Senju Enterprise Navigator ESP オプション連携機能ガイド	○	○※

※PostgreSQL を使用する場合、ESP 連携機能には障害メッセージ制御ブロックの項目のみサポート対象です。

1 Senju Service Automation 連携機能ガイド

1.1 Senju Service Automation 機能の概要

Senju Service Automation 機能では、Senju DevOperation Conductor に搭載されるランブックオートメーションやコマンド、ジョブの一時停止やスキップといった各種機能の自動実行を提供します。

Senju Service Automation 機能では、Senju Service Manager のプロセス管理の承認申請機能を使用することで、各種機能の実行申請を一元管理し、適切に承認フローを行うことで不正な機能の実行を防止することができます。また、プロセスのレコードの申請時にこれらの機能の実行をスケジューリングすることで、指定した時間に、承認された機能のみを自動的に実行することができます。



仕様説明

以降の章を参照する前に「1.5 資料集」の「1.5.1 用語説明」で本機能の説明で使用する用語、及び本機能で利用する項目についてご確認ください。



仕様説明

Senju Service Automation 機能において Senju Service Manager では Senju DevOperation Conductor 側で実行される操作に対して制御を行いません。Senju Service Manager 側で Senju Service Automation 機能経由の連携が可能な状態となっている場合、実行のタイミング等は Senju DevOperation Conductor 側の設定に依存します。

1.2 事前準備

Senju Service Automation 機能を利用する為の事前準備について記します。

1.2.1 Senju DevOperation Conductor の設定

Senju Service Automation 機能を使用するための設定を記します。

1. ランブック自動実行を利用する場合

ランブック自動実行を利用するために、事前にランブックの定義を作成する必要があります。

- ① 千手ブラウザのツリービューで、<ドメイン>→“イベント”→“オートメーション”→“ランブックオートメーション”→“ブックグループ”を選択して、ブック定義を作成します。
- ② ランブックエディタを用いて作成したブックに、セクション、チャプター及び分岐を登録します。

詳細については Senju DevOperation Conductor のユーザーズマニュアルにてブックの作成方法を確認してください。

また、Senju Service Automation 機能を経由して、ランブックを実行する場合、Senju Service Automation 用の環境変数が自動的に設定されます。詳細については Senju DevOperation Conductor のユーザーズマニュアルにてランブック実行申請の追加方法を確認してください。



制限事項

ランブック実行リクエストは Senju DevOperation Conductor のバージョンが V10.0 以上の千手マネージャで利用できます。

2. フレーム・ネット・ジョブ一時停止、スキップと解除、起動時刻変更、業務グループ起動時刻変更を利用する場合

フレーム・ネット・ジョブに関する機能を利用するために、事前にフレーム・ネット・ジョブの定義を作成して、実行システムの作成と投入が必要となります。

- ① 千手ブラウザのツリービューで、<ドメイン>→“ジョブスケジュール”を選択して、フレーム・ネット・ジョブの定義を作成します。
- ② 作成したフレーム・ネット・ジョブを利用して、特定の運用日付に実行システムを作成し、投入します。

詳細については Senju DevOperation Conductor のユーザーズマニュアルにてジョブスケジュー

ルの使用方法を確認してください。

3. Senju DevOperation Conductor カスタム監視モジュールを利用する場合

Senju DevOperation Conductor カスタム監視モジュール sjSSA_monitor.vbs を利用する場合、各環境のシステムの種類に合わせて、実行方法の下記制限があります。

Oracle サーバー	カスタム監視タスクを実行する Senju/DC AGT	モジュールの実行例 ※「sj_cProc64」が必要か
64bit	64bit	①
64bit	32bit	使用不可
32bit	64bit	②
32bit	32bit	②

① : cmd△/c△sj_cProc64△cscript△//nologo△%SENJUHOME%\bin\sjSSA_monitor.vbs△
-t1△-m2

② : cscript△//nologo△%SENJUHOME%\bin\sjSSA_monitor.vbs△-t1△-m2

“△”は半角スペースを示します。

1.2.2 Senju Enterprise Navigator の設定

Senju Service Automation 機能を使用するための設定を記します。

Senju Enterprise Navigator の SEN コンフィグレータを利用して、下記の設定が必要となります。

1. Senju DevOperation Conductor の連携設定

Senju Enterprise Navigator が千手マネージャと連携するには、連携先となる千手ドメインとの接続設定が必要となります。

詳細については Senju Enterprise Navigator のインストールガイドにて 千手/eXsenju/Senju DevOperation Conductor ドメインとの接続設定手順を確認してください。

2. Senju Service Automation 設定

連携先の Senju DevOperation Conductor 情報と Senju Service Manager を接続するための SSM DB と ODBC 接続設定が必要となります。

詳細については、Senju Enterprise Navigator のインストールガイドにて Senju Service Automation の設定手順を確認してください。

また、Senju Service Automation 設定で、千手操作リクエスト設定情報と Senju Service Manager DB 接続情報の設定も可能です。詳細については Senju Enterprise Navigator のインストールガイドにて SEN コンフィグレータ設定を確認してください。

1.2.3 Senju Service Manager の設定

Senju Service Automation 機能を使用するための設定を記します。

1. 職責の設定

SSA 機能を利用するにあたり、必要な職責の設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > ユーザー > 権限 > 職責]

- 各 SSA 連携項目の依頼をキャンセルするユーザーには以下の職責を付与する必要があります。

職責階層	チェックする職責
最上位	プロセス管理
第2階層	任意のプロセス画面
職責	SSA 連携のキャンセル

- 各 SSA 連携項目の連携ステータス（個別）を変更するユーザーには以下の職責を付与する必要があります。

職責階層	チェックする職責
最上位	プロセス管理
第2階層	任意のプロセス画面
職責	SSA 連携のステータス更新

- フレーム・ネット・ジョブ一時停止で、一時停止解除指示、一時停止解除実施の操作を行うユーザーには、以下の職責を付与する必要があります。

職責階層	チェックする職責
最上位	プロセス管理
第2階層	任意のプロセス画面
職責	<ul style="list-style-type: none"> ・一時停止解除指示 ・一時停止解除実施

- 業務グループ起動時刻変更の操作を行うユーザーには、以下の職責を付与する必要があります。

職責階層	チェックする職責
最上位	プロセス管理
第2階層	任意のプロセス画面
職責	<ul style="list-style-type: none"> ・業務グループ再変更指示 ・業務グループ再変更実施 ・業務グループの定義



仕様説明

「SSA 連携のキャンセル」「SSA 連携のステータス更新」「一時停止解除指示」「一時停止解除実施」職責はプロセスの画面にのみ適用される職責です。簡易プロセスの画面を操作する場合、上記職責で制御される操作は「簡易プロセスの使用」職責を持っているユーザーであれば行えます。

2. 項目の表示設定

SSA 機能を利用するにあたり、必要な項目の表示設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > サービスデスク画面レイアウト]
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > 簡易画面レイアウト]



仕様説明

SSA 連携機能で使用する項目については、Senju Service Manager マニュアルの項目一覧を参照してください。



制限事項

SSA 連携項目の項目名称、および連携ステータスのコード名称を変更した場合、メッセージに含まれる項目名称・コード名称も合わせて変更されます。

3. 画面ポリシーの設定

SSA 機能を利用するにあたり、必要な画面の表示設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > ユーザー > 権限 > 画面ポリシー]

- 依頼の登録に使用する画面

画面ポリシー階層	チェックするポリシー
最上位	プロセス管理もしくは問合せ・申請
第2～3階層	任意のプロセスもしくは簡易プロセスの画面

- 依頼の確認に使用する画面

画面ポリシー階層	チェックするポリシー
最上位	外部連携
第2階層	Senju Family 連携
第3階層	・フレーム・ネット・ジョブ申請 ・業務グループ定義

画面ポリシー階層	チェックするポリシー
最上位	ログインフレーム
第2階層	ログインフレーム
第3階層	業務グループ起動時刻変更申請状況



仕様説明

ログインユーザーのアカウント区分がエンドユーザーの場合、「1.4.9.1 フレーム・ネット・ジョブ申請一覧」は使用できません。

4. 接続先名の設定

依頼の登録を行う際にはプロセス管理のコード「接続先名」を事前に登録する必要があります。
以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > コード]

接続先名に登録するコードの値は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。



仕様説明

Senju Service Automation 連携により Senju Service Manager のプロセス管理のレコードが存在する場合は以下の点に気を付けてください。

- ・プロセス管理の連携ステータスが「依頼中」のレコードで使用している接続先名をコードマスタ管理画面から削除した場合、該当レコードは削除されることなく連携ステータスが「依頼中」の表示のままとなります。
コードマスタ管理画面で接続先名を削除する際は必ず削除をする前に「外部連携」タブ配下の画面(フレーム・ネット・ジョブ申請一覧画面及び業務グループ定義一覧画面)にて接続先名の検索を行い、依頼中のレコードが該当接続先を使用していないことを確認してください。

5. 承認フローの設定

SSA 機能は承認申請機能を利用します。

事前に SSA 連携機能を利用するプロセスの画面で使用できる承認フローを登録してください。

設定画面
[管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロールート]
[管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロー]

6. ブック名の設定

SSA 機能でランブック実行の依頼を行う場合の補助設定です。

よく使うランブック名を予め登録しておくことができます。

以下の画面でプロセス管理のコード「ブック名」に登録してください。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > コード]



仕様説明

本設定は必須ではありません。
ランブック実行の依頼を登録する際、ブック名は自由入力することもできます。

7. ランブックテンプレートの登録

SSA 機能でランブック実行の依頼を行う場合の補助設定です。

よく使うランブックの定義を予め登録しておくことができます。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 機能別 > 外部ツール連携 > ランブックテンプレート]



仕様説明

詳細な登録手順は「1.4.10.1 ランブックテンプレート管理」を参照してください。
テンプレートの使用手順は「1.4.2-2 ランブック定義をテンプレートからコピーする」を参照してください。



仕様説明

ランブック実行の依頼を登録する際、依頼の内容は自由入力することもできます。

8. 一時停止解除実施者のメール送信設定

SSA 機能でフレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼を行う場合の補助設定です。

フレーム・ネット・ジョブ一時停止で、一時停止解除指示の操作を行った際に、プロセスのレコードに設定したシステムの一時停止解除実施者に、解除実施を促す通知メールを自動送信することができます。

- 通知メールの送信有無は以下の設定で制御します。
 - ・設定画面[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
SSA 連携一時停止解除指示メール送信制御設定

- 解除実施を促す通知メールの送信先ユーザーを設定します。
 - ・設定画面[管理者メニュー > マスタ > システム > システム]

設定項目
プロセス管理ブロック - 一時停止解除実施者

9. 業務グループ定義の設定

業務グループ起動時刻変更の登録を行う際には業務グループ定義を事前に登録する必要があります。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[利用者メニュー > 外部連携 > Senju Family 連携 > 業務グループ定義]



仕様説明

詳細な登録手順は「1.4.9.2 業務グループ定義」を参照してください。

10. 重複データの存在チェックの設定

SSA 機能でフレーム・ネット・ジョブ一時停止及びフレーム・ネット・ジョブスキップ／解除の重複チェックを行うか否かを定義する設定です。

- ・設定画面[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
SSA 重複チェック制御設定

1.3 Senju Service Managerの操作フロー

SSA 機能を利用するにあたり基本的な Senju Service Manager の操作フローを記します。
詳細な操作手順については「1.4 Senju Service Manager の操作手順」を参照してください。

1.3.1 凡例

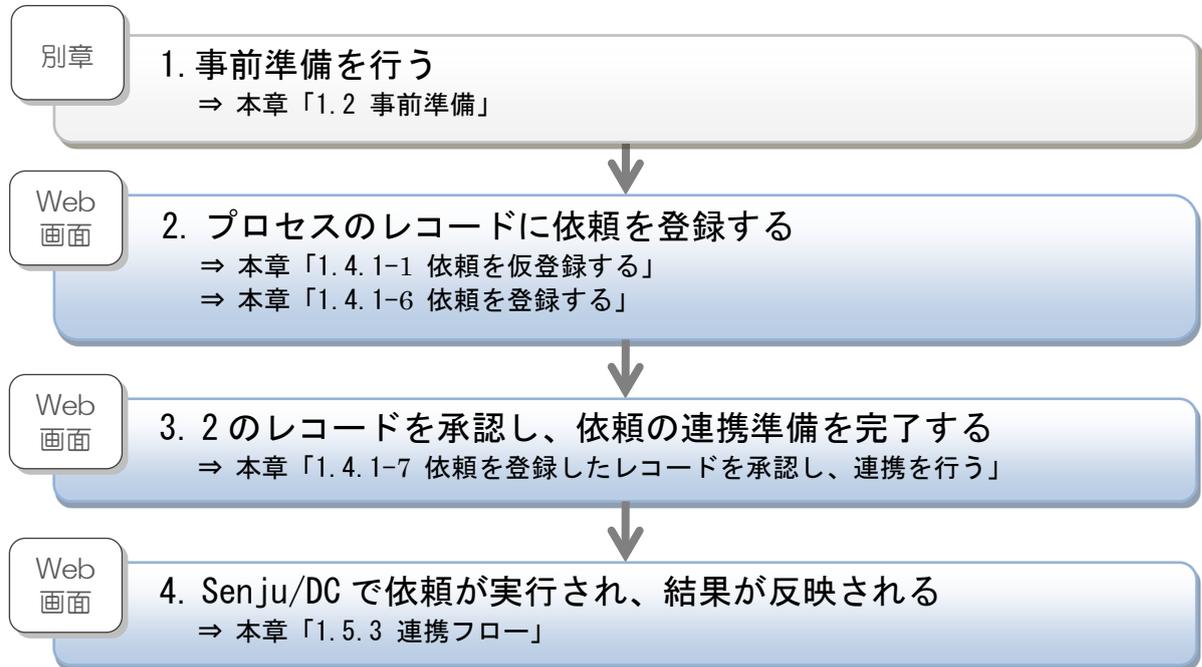
本章中の凡例について以下に記します。

凡例	説明
Web 画面	メンテナンスタブ以外の Web 画面での手順です。
別章	運用ガイドの別章の手順へのリンクです。
コマ ンド	各種コマンドを実行する手順です。

1.3.2 依頼を登録し連携を行う

Senju/DC で実行する依頼を Senju/SM で登録し、連携を行うまでのフローを記します。

1. コマンド実行

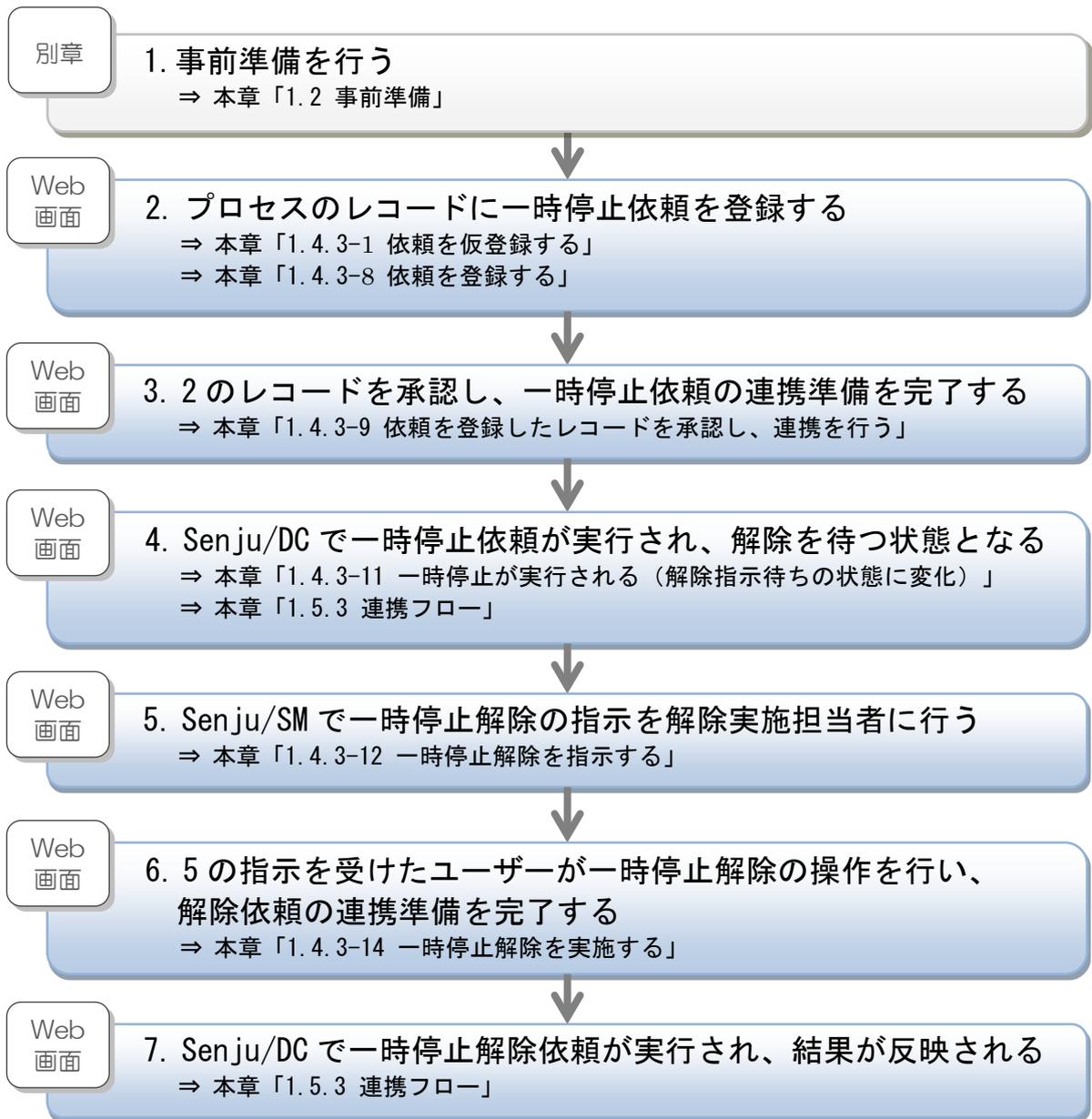


2. ランブック実行

ランブック実行の操作フローは「1 コマンド実行」を参照してください。

また操作方法については「1.4.2 ランブック実行」に読み替えてください。

3. フレーム・ネット・ジョブ一時停止



4. フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除

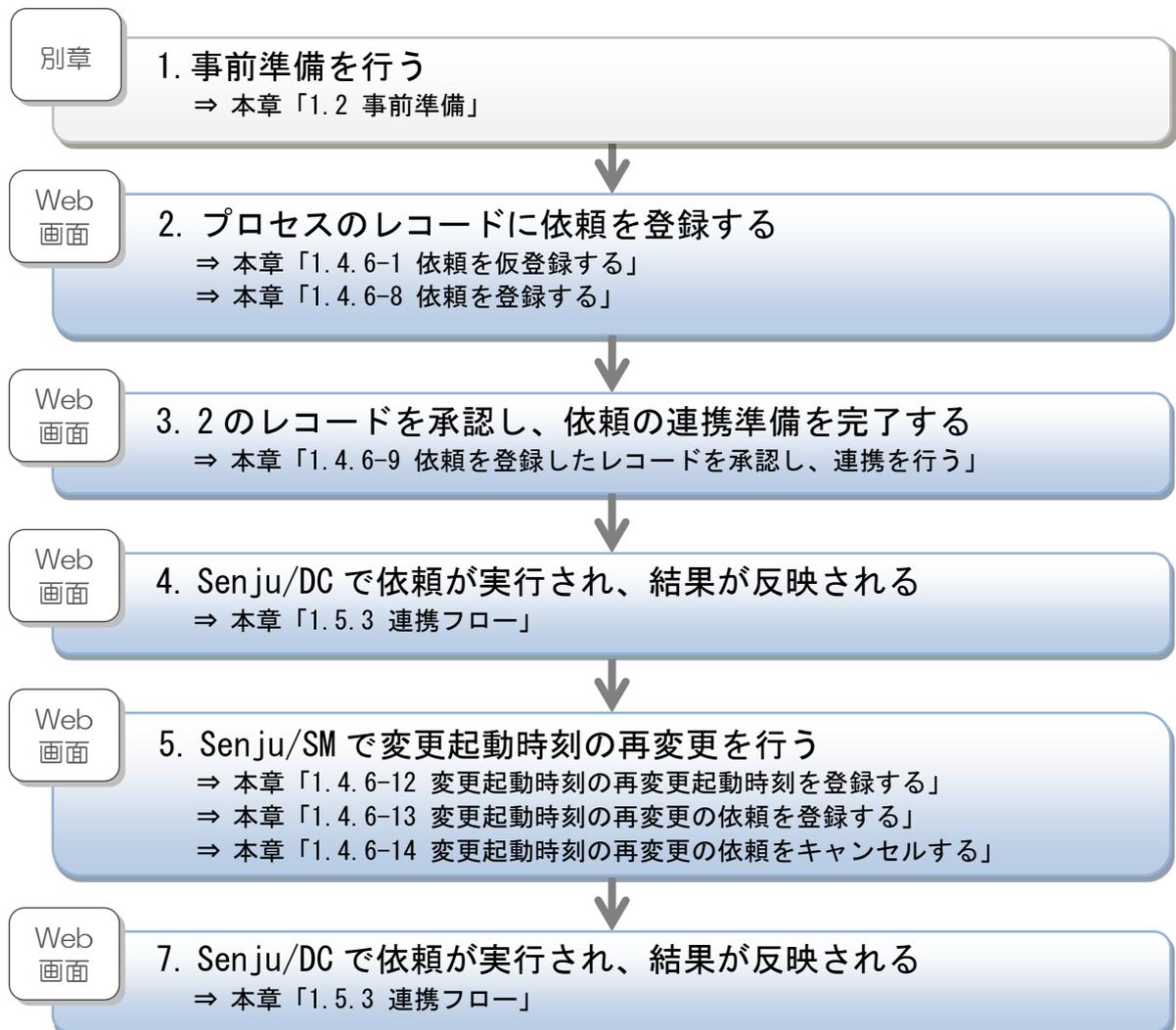
フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除の操作フローは「1 コマンド実行」を参照してください。

また操作方法については「1.4.4 フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除」に読み替えてください。

5. ネット・ジョブ起動時刻変更

ネット・ジョブ起動時刻変更の操作フローは「1 コマンド実行」を参照してください。
また操作方法については「1.4.5 ネット・ジョブ起動時刻変更」に読み替えてください。

6. 業務グループ起動時刻変更



1.3.3 依頼の連携状況を確認する

Senju/SM で登録した依頼の連携状況を確認するフローを記します。

1. プロセス管理から依頼の連携状況を確認する

Web
画面

1. 一覧でレコードに登録された依頼全体の連携状況を確認する
⇒ 本章「1.4.8 プロセス管理」
⇒ 本章「1.5.2-3 連携ステータス」
⇒ 本章「1.5.3 連携フロー」

Web
画面

2. レコードに登録された個々の依頼の連携状況を確認する
⇒ 本章「1.4.8 プロセス管理」
⇒ 本章「1.5.2-1 連携ステータス（個別）」
⇒ 本章「1.5.3 連携フロー」

2. フレーム・ネット・ジョブ申請一覧から依頼の連携状況を確認する

Web
画面

1. プロセスに登録されたすべての依頼の連携状況を確認する
⇒ 本章「1.4.9 外部連携（Senju Family連携）」
⇒ 本章「1.5.2-2 連携ステータス（業務グループ）」
⇒ 本章「1.5.3 連携フロー」

3. コマンドから依頼の連携状況を確認する

コマ
ンド

1. プロセスに登録された依頼をコマンドで帳票出力する
⇒ 本章「1.4.11.1 データ出力コマンド（sjSPU_ExportData_Ex.exe）」

1.4 Senju Service Manager の操作手順

SSA 連携を行う為の Senju/SM の操作手順について記します。

Senju/SM での依頼の登録、連携はプロセス管理、及び問合せ・申請の画面から行えます。

本章ではプロセス管理での操作を説明しますが、問合せ・申請の画面でも同様の操作です。

1.4.1 コマンド実行

コマンド実行の連携手順を記します。

1. 依頼を仮登録する

コマンド実行の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。

コマンド実行ブロックの[追加]ボタンをクリックします。



2. コマンド実行新規登録が表示されます。
任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください

コマンド実行新規登録 キャンセル

接続先名*

予定日付*

予定時刻*

コマンド名*

コマンドシーケンス*

[拡大して表示](#)

連携ステータス (個別):

コマンド実行結果:

[拡大して表示](#)

SEN実行結果:

[拡大して表示](#)

連携キャンセル実施日時: 連携キャンセル実施者:

登録日時: 登録者:

最終更新日時: 最終更新者:

3. コマンド実行ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

コマンド実行		
予定日時	連携ステータス (個別)	コマンド名
2021/02/01 14:34	反映	システムの起動



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

2. 依頼を仮更新する

登録されたコマンド実行の依頼を仮更新します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. コマンド実行ブロックのコマンド名の右端にある[]ボタンをクリックします。



3. コマンド実行編集が表示されます。
仮登録時と同様に任意の依頼内容を入力し、更新を行ってください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

3. 依頼を仮削除する

登録されたコマンド実行の依頼を仮削除します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. コマンド実行ブロックのコマンド名の右端にある[]ボタンをクリックします。



3. 削除確認のメッセージが表示されるので、削除を行ってください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

4. 依頼を確認する

コマンド実行に登録された依頼を確認します。

1. プロセス詳細／新規登録／編集を表示します。
2. コマンド実行ブロックに表示された依頼のタイトルリンクをクリックします。
3. コマンド実行詳細が表示されます。

コマンド実行詳細:コマンド実行確認 1 (0000000000000150) ✕

接続先名: Senju/OC

予定日付: 2016/03/08

予定時刻: 13:00

コマンド名: 反映(トリガ定義)

コマンドシーケンス:
sjPEX_reloadtrigdef.cmd 拡大して表示

連携ステータス (個別): 依頼成功

コマンド実行結果:
Command executinf: cmd /c sjPEX_reloadtrigdef.cmd
Command start time [Tue Mar 07 15:41:31 2016] 拡大して表示

SEN実行結果:
2016-03-08 16:41:31 [コマンド実行]リクエストを処理します。 拡大して表示

連携キャンセル 実施日時: 登録日時: 2016/03/08 16:30:09
連携キャンセル 実施者: 登録者: [SSM管理者](#)
最終更新日時: 2016/03/08 16:42:00 最終更新者:



仕様説明

依頼の Senju/EN、Senju/DC での実行結果は以下の項目について確認できません。

項目名
連携ステータス（個別）
DC 実行結果
SEN 実行結果
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
最終更新日時
最終更新者

連携ステータス（個別）に設定される値の内容は「1.5.2 連携ステータスの説明」を参照してください。また連携ステータス（個別）、DC 実行結果、SEN 実行結果の更新フローについては「1.5.3 連携フロー」を参照してください。

5. 依頼を一覧で確認する

コマンド実行に登録された依頼を一覧で確認します。

1. プロセス詳細／新規登録／編集を表示します。

コマンド実行ブロックの[申請内容一覧]ボタンをクリックします。



2. 申請内容一覧が表示されます。

コマンド実行申請内容一覧:コマンド実行依頼(0000000000000151)								
接続先名	予定日時	コマンド名	コマンドシーケンス	連携ステータス(個別)	連携キャンセル実施日時	連携キャンセル実施者	最終更新日時	最終更新者
Senju/OC	2016/03/15 13:00	システム起動	sj_remshe.exe @ ノード名@-l"@ ユーザー名@ sj_star t.com				2016/03/08 17:27: 10	SSM管理者
Senju/OC	2016/03/15 13:30	システムの停止	sj_remshe.exe @ ノード名@-l"@ ユーザー名@ sj_sto p.com				2016/03/08 17:27: 10	SSM管理者
Senju/OC	2016/03/16 09:00	プロセスの停止	sj_remshe.exe @ ノード名@-l"@ ユーザー名@ sj_kill "@指定形式@"@プ ロセス@				2016/03/08 17:27: 10	SSM管理者
Senju/OC	2016/03/16 14:00	プロセスの停止	sj_remshe.exe @ ノード名@-l"@ ユーザー名@ sj_kill "@指定形式@"@プ ロセス@				2016/03/08 17:27: 10	SSM管理者
Senju/OC	2016/03/16 23:59	反映 (ノード定義)	cmd /s sj_restartDo main.cmd				2016/03/08 17:27: 10	SSM管理者

一覧で確認できる項目を記します。

項目名
接続先名
予定日時
コマンド名
コマンドシーケンス
連携ステータス（個別）
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
最終更新日時
最終更新者

6. 依頼を登録する

プロセスのレコードの登録／更新を行った時点で、SSA 連携項目で登録／更新／削除した依頼内容が登録されます。

7. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

「6 依頼を登録する」に引き続き、依頼を登録したプロセスのレコードの承認申請を行います。プロセスのレコードが承認済みになると、連携ステータス(個別)が空白表示から「依頼待ち」に変化し、Senju/DC への連携処理が行われるのを待つ状態となります。

コマンド実行			
コマンド実行			申請内容一覧
予定日時	連携ステータス (個別)	コマンド名	
2021/03/15 13:00	依頼待ち	システム起動	
2021/03/13 13:30	依頼待ち	システムの停止	
2021/03/16 09:00	依頼待ち	プロセスの停止	
2021/03/16 14:00	依頼待ち	プロセスの停止	
2021/03/16 23:59	依頼待ち	反映 (ノード定義)	

連携ステータス(個別)が「依頼待ち」となる



仕様説明

承認申請機能については Senju Service Manager マニュアルのユーザーズガイドを参照してください。



仕様説明

連携ステータス(個別)が依頼待ちとなった後は、連携結果は Senju/EN によって随時更新されます。連携ステータス(個別)の遷移については「1.5.2 連携ステータスの説明」「1.5.3 連携フロー」を参照してください。

8. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

1.4.2 ランブック実行

ランブック実行の連携手順を記します。

1. 依頼を仮登録する

ランブック実行の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. ランブック実行ブロックの[追加]ボタンをクリックします。



3. ランブック実行新規登録が表示されます。
任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください

ランブック実行新規登録

キャンセル
テンプレート選択
登録

接続先名*

ブック名*

環境変数1

環境変数2

環境変数3

環境変数4

環境変数20

予定日付* 📅

予定時刻* 🕒

稼働ノード

連携ステータス (個別):

ランブック
実行結果:

[拡大して表示](#)

SEN実行結果:

[拡大して表示](#)

連携キャンセル
実施日時:

登録日時:

最終更新日時:

連携キャンセル
実施者:

登録者:

最終更新者:

4. ランブック実行ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

ランブック実行		
ランブック実行		
予定日時	連携ステータス (個別)	ブック名
2021/02/01 12:00	RBA001	 

反映



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

2. ランブック定義をテンプレートからコピーする

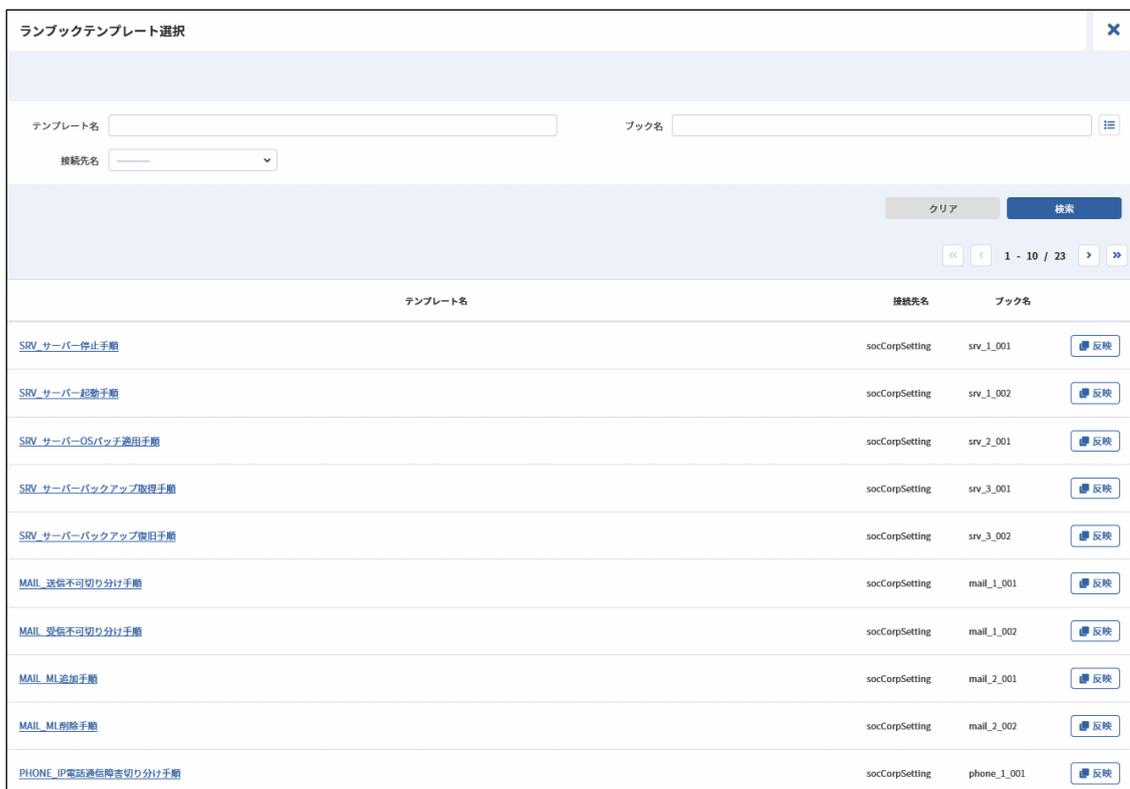
ランブック実行では、あらかじめ Senju /SM に登録したランブックのテンプレートをマスタ検索し、登録内容を依頼にコピーすることができます。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. ランブック実行新規登録／編集を表示します。
3. [テンプレート選択]ボタンをクリックします。



4. ランブックテンプレート選択が表示されます。
任意の検索条件を入力し、テンプレートを検索します。

項目名 (検索条件)	説明
テンプレート名	テンプレートの名称で検索します。
ブック名	テンプレートに設定したブック名で検索します。
接続先名	テンプレートに設定した接続先名で検索します。



5. 検索結果一覧で[反映]ボタンをクリックします。

接続先名	ブック名	
socCorpSetting	srv_1_001	



6. テンプレートの内容がランブック実行新規登録／編集に反映されます。



必須設定

以下の画面で、ランブックのテンプレートを登録する必要があります。

設定画面

[管理者メニュー > 機能別 > 外部ツール連携 > ランブックテンプレート]

※詳細な手順は「1.4.10.1 ランブックテンプレート管理」を参照してください。



仕様説明

テンプレートの項目に空白が設定されている場合、呼出し元には空白が反映されます。

※既に入力されていた値はクリアされます。



操作説明

ランブックテンプレートの内容は、ランブックテンプレート選択でテンプレート名をクリックして起動するランブックテンプレート詳細から確認できます。



制限事項

複数システムを選択してプロセスレコードを登録する場合、ランブックテンプレートは選択できません。

プロセスレコードを登録してからランブックテンプレートを選択してください。

3. 依頼を仮更新する

本項の操作は「1.4.1-2 依頼を仮更新する」を読み替えてください。

4. 依頼を仮削除する

本項の操作は「1.4.1-3 依頼を仮削除する」を読み替えてください。

5. 依頼を確認する

本項の操作は「1.4.1-4 依頼を確認する」を読み替えてください。

6. 依頼を一覧で確認する

本項の操作は「1.4.1-5 依頼を一覧で確認する」を読み替えてください。

申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
接続先名
ブック名
予定日時
稼働ノード
連携ステータス（個別）
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
最終更新日時
最終更新者

7. 依頼を登録する

本項の操作は「1.4.1-6 依頼を登録する」を読み替えてください。

8. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

本項の操作は「1.4.1-7 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う」を読み替えてください。

9. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

10. 依頼をコピー登録する

プロセスのレコードをコピー登録する場合に、ランブック実行の各依頼もコピーすることができます。

コピーはプロセスのコピー登録、関連登録から行います。

1. プロセス詳細を表示します。
2. [コピー登録]ボタンをクリックします。
※ 関連登録の場合、[関連登録]ボタンをクリックします。
コピー先のプロセスの画面を選択する関連先選択が表示されるので任意の画面を選択してください。
3. 1.のレコードの情報を引き継いだプロセス新規登録が表示されます。
この時、ランブック実行は 1.で登録した全依頼を引き継ぎます。

入力可能項目名	引継ぎ対象
接続先名	○
ブック名	○
環境変数 1~20	○
稼働ノード	○
予定日付	×
予定時刻	×

4. 予定日付・予定時刻の値はコピーされない為、入力します。
5. 任意の依頼を登録したら、プロセスのレコードを登録します。



必須設定

以下の画面で、使用するプロセスの画面の項目「ランブック実行」をコピー対象としてください。

設定画面

[管理者メニュー > 画面 > コピー項目定義 > コピー登録定義]



仕様説明

関連登録を行う場合、コピー先とコピー元で同じ名称の「接続先名」コードが登録されている必要があります。コピー先に「接続先名」が存在しない場合、依頼はコピーされますが、「接続先名」はコピーされません。



仕様説明

接続先名、および予定日付・予定時刻を未入力のまま、プロセスのレコードを登録することはできません。



仕様説明

ランブック実行の参照項目はすべてコピー対象外です。

1.4.3 フレーム・ネット・ジョブ一時停止

フレーム・ネット・ジョブ一時停止の連携手順を記します。

1. 依頼を仮登録する

フレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. フレーム・ネット・ジョブ一時停止ブロックの[追加]ボタンをクリックします。



3. フレーム・ネット・ジョブ一時停止新規登録が表示されます。
任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください。

フレーム・ネット・ジョブ一時停止新規登録

キャンセル
検索
登録

操作指示: 一時停止指定

接続先名*

運用日付*

連携システム*

フレーム名*

ネット名

ジョブ名

リミット日付* リミット時刻*

解除予定日付* 解除予定時刻*

連携ステータス (個別):

フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果: [🔍 拡大して表示](#)

SEN実行結果: [🔍 拡大して表示](#)

連携キャンセル実施日時: 連携ステータス手動更新日時: 一時停止解除指示日時: 一時停止解除実施日時: 登録日時: 最終更新日時:	連携キャンセル実施者: 連携ステータス手動更新者: 一時停止解除指示者: 一時停止解除実施者: 登録者: 最終更新者:
--	--

4. フレーム・ネット・ジョブ一時停止ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

フレーム・ネット・ジョブ一時停止				
フレーム・ネット・ジョブ一時停止				
申請対象	運用日付	連携ステータス (個別)	操作指示	フレーム・ネット・ジョブ名
	2021/02/01		一時停止指定 JOB1	 



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



仕様説明

ネット名とジョブ名、またはジョブ名は省略して入力することができます。

- ・ ネット名とジョブ名を省略した場合は、入力したフレームを指定した一時停止指定／解除になります。
- ・ ジョブ名を省略した場合は、入力したフレーム・ネットを指定した一時停止指定／解除になります。
- ・ ジョブ名まで入力した場合は、入力したフレーム・ネット・ジョブを指定した一時停止指定／解除になります。

それぞれの実際の動作につきましては、「Senju DevOperation Conductor ユーザーズガイド」を参照してください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

2. 既に登録済みの依頼か確認する

本項の操作は「1.4.7-6 存在する実行システムに対する依頼か確認する」を読み替えてください。

3. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する

本項の操作は「1.4.7-5 実行システムの情報をコピーする」を参照してください。

4. 依頼を仮更新する

本項の操作は「1.4.1-2 依頼を仮更新する」を読み替えてください。

5. 依頼を仮削除する

本項の操作は「1.4.1-3 依頼を仮削除する」を読み替えてください。

6. 依頼を確認する

本項の操作は「1.4.1-4 依頼を確認する」を読み替えてください。

7. 依頼を一覧で確認する

本項の操作は「1.4.1-5 依頼を一覧で確認する」を読み替えてください。

申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
ジョブ有り（無し）アイコン
操作指示
接続先名
運用日付
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名
リミット日時
解除予定日時
連携ステータス(個別)
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
一時停止解除指示日時
一時停止解除指示者
一時停止解除実施日時
一時停止解除実施者
最終更新日時
最終更新者

8. 依頼を登録する

本項の操作は「1.4.1-6 依頼を登録する」を読み替えてください。

9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

本項の操作は「1.4.1-7 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う」を読み替えてください。

10. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

11. 一時停止が実行される（解除指示待ちの状態に変化）

Senju/DC で一時停止の依頼が実行されると、連携ステータス（個別）は「解除指示待ち」に変化します。

1. プロセス詳細を表示します。
2. 連携ステータス（個別）が「解除指示待ち」であることを確認します。



解除指示待ちとなった依頼の対象となったフレーム（ネット、ジョブ）は、一時停止解除を行うまで停止したままです。

以降の手順に従い、一時停止の解除を行ってください。

12. 一時停止解除を指示する

一時停止解除を実施する Senju/SM のユーザーに対して解除指示を出します。

1. プロセス詳細を表示します。
2. フレーム・ネット・ジョブ一時停止ブロックの[]ボタンをクリックします。



3. 一時停止解除指示を行うか確認するメッセージが表示されるので、指示を行ってください。
あらかじめ Senju/SM のシステムの一時停止解除実施者に、解除指示が出された旨を知らせる

メールが自動送信されます。



仕様説明

一時停止解除実施者のユーザーに対してエスカレーションは行われません。
この為、プロセスの項目「現在対応者」は一時停止解除指示前後で変わりません。
一時停止解除指示が行われた依頼をメール以外で確認する場合は、「1.4.9.1 フレーム・ネット・ジョブ申請一覧」で検索を行ってください。

13. 連携ステータス（個別）を手動で変更する

本項の操作は「1.4.7-4 連携ステータス（個別）を手動で変更する」を参照してください。

14. 一時停止解除を実施する

一時停止解除指示を受けた Senju/SM のユーザーは解除実施を行います。

解除実施の操作後は、Senju/DC への連携処理が行われるのを待つ状態となります。

1. プロセス詳細を表示します。
2. フレーム・ネット・ジョブ一時停止ブロックの[]ボタンをクリックします。



このスクリーンショットは、Senju Service Manager の「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」画面を示しています。画面には、申請対象、運用日付、連携ステータス（個別）、操作指示、フレーム・ネット・ジョブ名などの情報が表示されています。操作指示欄には「一時停止解除」のリンクと「JOB1」のリンクがあります。また、右側の操作ボタンには「解除実施」のボタンが赤い枠で囲まれており、そのボタンには「一時停止解除実施」という赤いテキストが追加されています。

申請対象	運用日付	連携ステータス (個別)	操作指示	フレーム・ネット・ジョブ名
	2020/12/12	解除実施待ち	一時停止解除 JOB1	

3. 一時停止解除実施を行うか確認するメッセージが表示されるので、実施してください。
4. 一時停止解除指示を行った後は、連携ステータス（個別）は「解除依頼待ち」に変化します。



このスクリーンショットは、Senju Service Manager の「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」画面を示しています。画面には、申請対象、運用日付、連携ステータス（個別）、操作指示、フレーム・ネット・ジョブ名などの情報が表示されています。連携ステータス欄には「解除依頼待ち」と表示されています。また、この欄には赤い枠が描かれ、その中に「連携ステータス（個別）が「解除依頼待ち」となる」という赤いテキストが追加されています。

申請対象	運用日付	連携ステータス (個別)	操作指示	フレーム・ネット・ジョブ名
	2020/12/12	解除依頼待ち	一時停止解除 JOB1	



仕様説明

連携ステータス（個別）は「解除依頼待ち」の場合、キャンセル処理（「1.4.1-8 依頼をキャンセルする」）は行えません。

1.4.4 フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除

フレーム・ネット・ジョブスキップ指定、及びフレーム・ネット・ジョブスキップ解除の連携手順を記します。

1. 依頼を仮登録する

フレーム・ネット・ジョブスキップ指定、及びフレーム・ネット・ジョブスキップ解除の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. フレーム・ネット・ジョブスキップ解除ブロックの[指定追加]ボタン、もしくは[解除追加]ボタンをクリックします。



3. フレーム・ネット・ジョブスキップ指定／解除新規登録が表示されます。
任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください。
イメージは[指定追加]ボタンをクリックした場合のものです。

フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除新規登録

キャンセル
検索
登録

操作指示: スキップ指定

接続先名*

運用日付*

連携システム*

フレーム名*

ネット名

ジョブ名

リミット日付* リミット時刻*

連携ステータス (個別):

フレーム・ネット・ジョブスキップ 実行結果: [拡大して表示](#)

SEN実行結果: [拡大して表示](#)

連携キャンセル 実施日時: 連携ステータス手 動更新日時: 登録日時: 最終更新日時:	連携キャンセル 実施者: 連携ステータス手 動更新者: 登録者: 最終更新者:
--	--

4. フレーム・ネット・ジョブスキップ解除ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除				
フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除				
☰ 申請内容一覧 + 指定追加 🔄 解除追加				
申請対象	運用日付	連携ステータス (個別)	操作指示	フレーム
🗑️	2021/03/02		スキップ指定	JOB2-2
🗑️	2021/03/02		スキップ解除	NET2-1



補助設定

[指定追加] ボタンと[解除追加] ボタンのいずれかを表示する設定にできます。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名

SSA 連携スキップ指定／解除ボタン表示設定



仕様説明

[指定追加] ボタンをクリックした場合、操作指示は「スキップ指定」、
[解除追加] ボタンをクリックした場合、操作指示は「スキップ解除」となります。
操作指示以外に項目、及び項目の値に違いはありません。



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



仕様説明

ネット名とジョブ名、またはジョブ名は省略して入力することができます。
・ ネット名とジョブ名を省略した場合は、入力したフレームを指定した一時停止指定／解除になります。
・ ジョブ名を省略した場合は、入力したフレーム・ネットを指定した一時停止指定／解除になります。
・ ジョブ名まで入力した場合は、入力したフレーム・ネット・ジョブを指定した一時停止指定／解除になります。
それぞれの実際の動作につきましては、「Senju DevOperation Conductor ユーザーズガイド」を参照してください。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

2. 既に登録済みの依頼が確認する

本項の操作は「1.4.7-6 存在する実行システムに対する依頼が確認する」を参照してください。

3. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する

本項の操作は「1.4.7-5 実行システムの情報をコピーする」を参照してください。

4. 依頼を仮更新する

本項の操作は「1.4.1-2 依頼を仮更新する」を読み替えてください。

5. 依頼を仮削除する

本項の操作は「1.4.1-3 依頼を仮削除する」を読み替えてください。

6. 依頼を確認する

本項の操作は「1.4.1-4 依頼を確認する」を読み替えてください。

7. 依頼を一覧で確認する

本項の操作は「1.4.1-5 依頼を一覧で確認する」を読み替えてください。

申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
ジョブ有り（無し）アイコン
操作指示
接続先名
運用日付
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名
リミット日時
連携ステータス（個別）
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
最終更新日時
最終更新者

8. 依頼を登録する

本項の操作は「1.4.1-6 依頼を登録する」を読み替えてください。

9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

本項の操作は「1.4.1-7 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う」を読み替えてください。

10. 連携ステータス（個別）を手動で変更する

本項の操作は「1.4.7-4 連携ステータス（個別）を手動で変更する」を参照してください。

11. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

1.4.5 ネット・ジョブ起動時刻変更

ネット・ジョブ起動時刻変更の連携手順を記します。

1. 依頼を仮登録する

ネット・ジョブ起動時刻変更の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。

ネット・ジョブ起動時刻変更ブロックの[追加]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for 'ネット・ジョブ起動時刻変更' (Net Job Start Time Change). At the top, there is a header with the title and a dropdown menu. Below the header, there is a section with a list icon, '申請内容一覧' (Application List), and a '+ 追加' (Add) button. The main area contains a table with columns: '申請対象' (Application Target), '運用日付' (Operation Date), '連携ステータス (個別)' (Link Status (Individual)), '操作指示' (Operation Instruction), and 'ネット・ジョブ名' (Net Job Name). Below the table, it says '申請内容はありません' (No application content).

2. ネット・ジョブ起動時刻変更新規登録が表示されます。

任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください。

The screenshot shows the registration form for 'ネット・ジョブ起動時刻変更新規登録: コマンド実行依頼(00000000000000151)'. The form includes fields for: '接続先名*' (Connection Name), '運用日付*' (Operation Date), '連携システム*' (Link System), 'フレーム名*' (Frame Name), 'ネット名*' (Net Name), 'ジョブ名' (Job Name), 'リミット日付*' (Limit Date), 'リミット時刻*' (Limit Time), '起動予定時刻*' (Start Scheduled Time), '連携ステータス (個別):' (Link Status (Individual)), 'ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果:' (Net Job Start Time Change Execution Result), 'SEN実行結果:' (SEN Execution Result), '連携キャンセル実施日時:' (Link Cancellation Implementation Date/Time), '登録日時:' (Registration Date/Time), '最終更新日時:' (Last Update Date/Time), '連携キャンセル実施者:' (Link Cancellation Implementer), and '登録者:' (Registrant). There are also 'キャンセル' (Cancel), '検索' (Search), and '登録' (Register) buttons at the top right.

3. ネット・ジョブ起動時刻変更ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

ネット・ジョブ起動時刻変更				
ネット・ジョブ起動時刻変更				
申請対象	運用日付	連携ステータス (個別)	操作指示	ネット・ジョブ名
	2020/12/01		起動時刻変更 JOB1-1-1	



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



仕様説明

ジョブ名は省略して入力することができます。

- ・ジョブ名を省略した場合は、入力したフレーム/ネットを指定した起動時刻変更になります。
- ・ジョブ名まで入力した場合は、入力したフレーム・ネット・ジョブを指定した起動時刻変更になります。

それぞれの実際の動作につきましては、「Senju DevOperation Conductor ユーザーズガイド」を参照してください。



仕様説明

ジョブ名を省略した場合、フレーム名とネット名に同じ値を入力することはできません。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録/更新を行うまで確定しません。

2. 実行システムの情報を依頼にコピーして入力する

本項の操作は「1.4.7-5 実行システムの情報をコピーする」を参照してください。

3. 依頼を仮更新する

本項の操作は「1.4.1-2 依頼を仮更新する」を読み替えてください。

4. 依頼を仮削除する

本項の操作は「1.4.1-3 依頼を仮削除する」を読み替えてください。

5. 依頼を確認する

本項の操作は「1.4.1-4 依頼を確認する」を読み替えてください。

6. 依頼を一覧で確認する

本項の操作は「1.4.1-5 依頼を一覧で確認する」を読み替えてください。

申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
ジョブ有り（無し）アイコン
操作指示
接続先名
運用日付
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名
リミット日時
起動予定時刻
連携ステータス（個別）
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
最終更新日時
最終更新者

7. 依頼を登録する

本項の操作は「1.4.1-6 依頼を登録する」を読み替えてください。

8. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

本項の操作は「1.4.1-7 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う」を読み替えてください。

9. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

1.4.6 業務グループ起動時刻変更

業務グループ起動時刻変更の連携手順を記します。

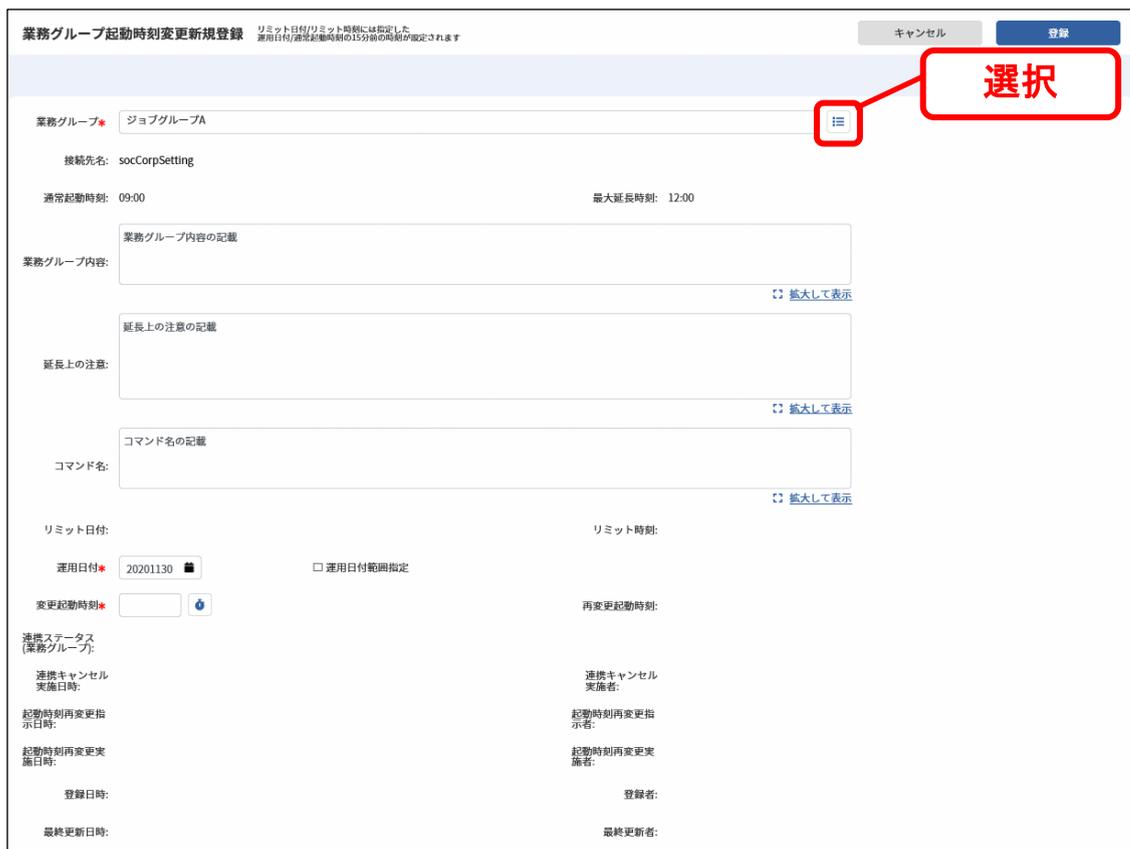
1. 依頼を仮登録する

業務グループ起動時刻変更の依頼を仮登録します。

1. プロセス新規登録／編集を表示します。
2. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[追加]ボタンをクリックします。



3. 業務グループ起動時刻変更新規登録が表示されます。



4.  ボタンをクリックします。

業務グループ選択が表示されます。

運用日付を入力後、任意の検索条件を入力し、業務グループ定義を検索します。

項目名（検索条件）	説明
業務グループ	業務グループ定義に設定した業務グループで検索します。
接続先名	業務グループ定義に設定した接続先名で検索します。

業務グループ選択 キャンセル

運用日付* 

業務グループ

接続先名 

<< < 1 - 5 / 5 > >>

業務グループ	接続先名	業務グループ内容	通常起動時刻	最大延長時刻	依頼変更時刻	申請状況	連携ステータス(業務グループ)	延長上の注意
ジョブグループA:0000000000000003	socCorpSetting	業務グループ内容の記載	09:00	12:00				延長上の注意の記載 <input type="button" value="選択"/>
ジョブグループB:0000000000000004	sjoc01		09:00	18:00				<input type="button" value="選択"/>

5. 検索結果一覧で[選択]ボタンをクリックします。



6. 業務グループ定義の内容が業務グループ起動時刻変更新規登録に反映されます。

業務グループ起動時刻変更新規登録 リミット日付/リミット時刻には指定した運用日付/通常起動時刻の15分前の時刻が設定されます キャンセル 登録

業務グループ* ☰

接続先名: socCorpSetting

通常起動時刻: 09:00 最大延長時刻: 12:00

業務グループ内容: ☰ 拡大して表示

延長上の注意: ☰ 拡大して表示

コマンド名: ☰ 拡大して表示

リミット日付: 運用日付範囲指定

変更起動時刻* 🕒 再変更起動時刻:

連携ステータス (業務グループ): 連携キャンセル実施者:

連携キャンセル実施日時: 起動時刻再変更指示者:

起動時刻再変更指示日時: 起動時刻再変更実施者:

登録日時: 登録者:

最終更新日時: 最終更新者:

反映

業務グループ起動時刻変更 ▼

業務グループ起動時刻変更 ☰ 申請内容一覧 + 追加

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ
2020/11/30	11:00			ジョブグループA ✎ 🗑

7. 任意の依頼内容を入力し、登録を行ってください。
8. 業務グループ起動時刻変更ブロックに仮登録した依頼が反映されます。

業務グループ起動時刻変更

業務グループ起動時刻変更 ● ☰ 申請内容一覧

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ	反映
2016/02/25	10:00		ジョブグループ A	<input type="button" value="▶"/> <input type="button" value="⊕"/> <input type="button" value="⊖"/> <input type="button" value="⌂"/>	



仕様説明

業務グループ選択では、申請状況が表示されていない場合のみ、☰ ボタンが有効となります。



必須設定

以下の画面で、業務グループ定義を登録する必要があります。

設定画面
[利用者メニュー > 外部連携 > Senju Family 連携 > 業務グループ定義]

※詳細な手順は「1.4.9.2 業務グループ定義」を参照してください。



仕様説明

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。



必須設定

以下の画面で、業務グループ起動時刻変更の項目を登録する必要があります。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > システム > システム]



補助設定

リミット日付・リミット時刻は、以下の画面で設定された内容により表示されます。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > システム > システム]
設定項目
・前倒し時刻の入力制御設定
・リミット日時初期値



仕様説明

システムに設定されている前倒し時刻の入力制御設定により、変更起動時刻の入力範囲が以下ようになります。

- ・前倒し入力を行わないの場合、通常起動時刻より前の時刻は入力できません。
- ・前倒し入力を行う場合、通常起動時刻より前の時刻が入力できます。



補助設定

以下の画面で設定された内容により、業務グループ起動時刻変更ブロックに変更対象時刻の内容がアイコン表示されます。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > システム > システム]
設定項目
・変更対象時刻



仕様説明

システムに設定されている変更対象時刻を変更しても、既に業務グループ起動時刻変更が登録されている場合、変更対象時刻の内容には反映されません。



仕様説明

依頼内容はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。

業務グループ起動時刻変更ブロックに変更対象時刻の内容のアイコンが表示されます。



仕様説明

アイコン (左から)	説明
起動時刻	業務グループについて、起動時刻変更のみの申請を行います。
遅延監視時刻	業務グループについて、起動時刻変更と遅延監視時刻変更の申請を行います。

※業務グループ起動時刻変更が登録されていない場合、アイコンは表示されません。

2. 依頼を仮更新する

本項の操作は「1.4.1-2 依頼を仮更新する」を読み替えてください。



仕様説明

システムを変更した場合、既に登録されている業務グループ起動時刻変更を登録しなおす必要があります。

3. 依頼を仮削除する

本項の操作は「1.4.1-3 依頼を仮削除する」を読み替えてください。

4. 依頼を確認する

本項の操作は「1.4.1-4 依頼を確認する」を読み替えてください。

業務グループ起動時刻変更詳細画面の左上部に変更対象時刻の設定内容がラベル表示されます。



仕様説明



ラベル (左から)	説明
起動時刻	業務グループについて、起動時刻変更のみの申請を行います。
遅延監視時刻	業務グループについて、起動時刻変更と遅延監視時刻変更の申請を行います。

5. 依頼を一覧で確認する

本項の操作は「1.4.1-5 依頼を一覧で確認する」を読み替えてください。

申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
業務グループ
通常起動時刻
最大延長時刻
運用日付
リミット日付
リミット時刻
変更起動時刻
再変更起動時刻
連携ステータス(業務グループ)
連携キャンセル実施日時
連携キャンセル実施者
起動時刻再変更指示日時
起動時刻再変更指示者
起動時刻再変更実施日時
起動時刻再変更実施者
最終更新日時
最終更新者

6. 業務グループ毎の依頼を確認する

1. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[申請内容一覧]ボタンをクリックします。

2. 申請内容一覧が表示されます。

業務グループ	通常起動時刻	最大延長時刻	運用日付	リミット日付	リミット時刻	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス(業務グループ)	連携キャンセル実施日時	連携キャンセル実施者	起動時刻
ジョブグループA	09:00	12:00	2020/11/30	2020/11/30	08:45	12:00					

3. 申請内容一覧の業務グループのリンクをクリックします。
業務グループ詳細が表示されます。

業務グループ詳細:ジョブグループA

基本情報

ID: 000000000000000003

システム: [営業管理システム](#)

業務グループ: ジョブグループA

接続先名: socCorpSetting

通常起動時刻: 09:00 最大延長時刻: 12:00

コマンド名:

業務グループ内容:

延長上の注意の記載

業務グループ起動時刻変更申請状況

2020/12

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(未登録 申請前 申請中 承認済 案件完了 連携なし)

4. 業務グループ起動時刻変更申請状況の色つきセルをクリックします。
対象のプロセス詳細が表示されます。

仕様説明

カレンダーの「」ボタンをクリックすると前月のカレンダーが表示されます。

カレンダーの「」ボタンをクリックすると次月のカレンダーが表示されます。

7. 運用日付単位の依頼を一覧で確認する

1. プロセス詳細を表示します。
2. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[]ボタンをクリックします

業務グループ起動時刻変更

業務グループ起動時刻変更

申請内容一覧

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)
2016/02/25	10:00		ジョブグループ A     

3. ジョブ申請内容一覧が表示されます。

ジョブ申請内容一覧:ジョブグループ起動時刻変更依頼(0000000000000153)								
NO	連携システム	フレーム名	ネット名	ジョブ名	起動予定時刻	連携ステータス (個別)	業務グループ起動 時刻変更実行結果	SEN実行結果
1	SYSTEM4	FRAME4	NET4	JOB4	16:00	依頼待ち		
2	SYSTEM4	FRAME4	NET4		17:00	依頼待ち		

ジョブ申請内容一覧で確認できる項目を記します。

項目名
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名
起動予定時刻
連携ステータス(個別)
業務グループ起動時刻変更実行結果
SEN 実行結果

8. 依頼を登録する

本項の操作は「1.4.1-6 依頼を登録する」を読み替えてください。

9. 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う

本項の操作は「1.4.1-7 依頼を登録したレコードを承認し、連携を行う」を読み替えてください。

10. 連携ステータス(個別)を手動で変更する

本項の操作は「1.4.7-4 連携ステータス(個別)を手動で変更する」を参照してください。

11. 依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

12. 変更起動時刻の再変更起動時刻を登録する

業務グループ起動時刻変更の変更起動時刻の再変更起動時刻を登録します。

1. プロセス詳細を表示します。
2. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[]ボタンをクリックします。



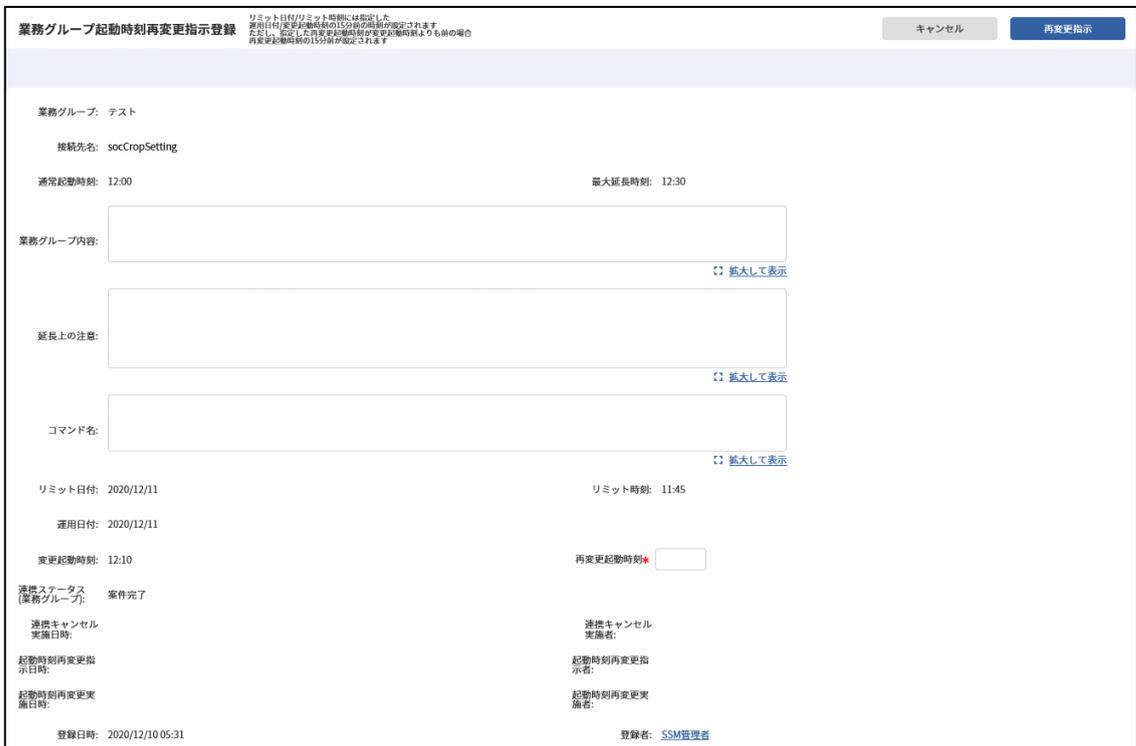
業務グループ起動時刻変更

業務グループ起動時刻変更①

起動時刻再変更指示

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ
2020/12/11	12:10		案件完了	ジョブグループ

3. 業務グループ起動時刻再変更指示登録が表示されます。



業務グループ起動時刻再変更指示登録

業務グループ: テスト

接続先名: socCropSetting

通常起動時刻: 12:00 最大延長時刻: 12:30

業務グループ内容:

延長上の注:

コマンド名:

リミット日付: 2020/12/11 リミット時刻: 11:45

運用日付: 2020/12/11

変更起動時刻: 12:10 再変更起動時刻*

連携ステータス (業務グループ): 案件完了

連携キャンセル 実施日時:

起動時刻再変更指示 実施日時:

起動時刻再変更実施日時:

登録日時: 2020/12/10 05:31 登録者: SSM管理者

4. 任意の依頼内容を入力し、[再変更指示]ボタンをクリックします。
5. 業務グループ起動時刻変更ブロックに登録した依頼が反映されます。

業務グループ起動時刻変更					
業務グループ起動時刻変更					申請内容一覧
運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ	
2020/12/11	12:10	12:20	再変更実施待ち	ジョブグループ	    

反映



仕様説明

起動時刻再変更指示、起動時刻再変更実施は、連携ステータス(業務グループ)が
案件完了の時のみ行えます。
起動時刻再変更指示は、1回のみ実施可能です。但し、起動時刻再変更却下を
行った場合は、再度起動時刻再変更指示が行えます。

13. 変更起動時刻の再変更の依頼を登録する

「12 変更起動時刻の再変更起動時刻を登録する」に引き続き、起動時刻再変更実施を行います。連携ステータス(業務グループ)が「再変更実施待ち」から「依頼待ち」に変化し、Senju/DC への連携処理が行われるのを待つ状態となります。

1. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[▶]ボタンをクリックします。



2. 確認ダイアログで[OK]をクリックします。
3. 業務グループ起動時刻変更ブロックに登録した依頼が反映されます。



14. 変更起動時刻の再変更の依頼をキャンセルする

本項の操作は「1.4.7-1 依頼をキャンセルする」「1.4.7-2 依頼を一括でキャンセルする」を参照してください。

15. 変更起動時刻の再変更の依頼を却下する

「12 変更起動時刻の再変更起動時刻を登録する」に引き続き、起動時刻再変更却下を行います。連携ステータス(業務グループ)が「再変更実施待ち」から「再変更実施却下」に変化します。

1. 業務グループ起動時刻変更ブロックの[✖]ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Business Group Start Time Change' interface. A table lists the change details. The 'Cancel' button (✖) is highlighted with a red box and a callout bubble containing the text '起動時刻再変更却下' (Cancel start time change).

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ
2020/12/11	12:10	12:20	再変更実施待ち	ジョブグループ

2. 確認ダイアログで[OK]をクリックします。
3. 業務グループ起動時刻変更ブロックに反映されます。



The screenshot shows the same interface as above, but the 'Reflect' button (✓) is now highlighted with a red box and a callout bubble containing the text '反映' (Reflect).

運用日付	変更起動時刻	再変更起動時刻	連携ステータス (業務グループ)	業務グループ
2020/12/11	12:10	12:20	再変更実施却下	ジョブグループ



再変更実施却下は連携ステータス(業務グループ)が再変更実施待ちの時のみ行えます。

1.4.7 SSA 連携項目共通の操作

各 SSA 連携項目で共通の操作について記します。

1. 依頼をキャンセルする

連携ステータス（個別）が依頼待ちとなった依頼をキャンセルし、連携処理を中断します。

ここでは依頼を 1 件毎にキャンセルを行う操作を説明します。

- 承認済みとなったレコードのプロセス詳細を表示します。
- SSA 連携項目のタイトルリンクの右端にある[キャンセル]ボタンをクリックします。



予定日時	連携ステータス (個別)	コマンド名	
2020/12/10 15:00	依頼待ち	システムの起動	
2020/12/10 16:00	依頼待ち	システムの停止	
2020/12/11 13:00	依頼待ち	プロセスの停止	
2020/12/11 19:00	依頼待ち	反映 (ノード定義)	

- キャンセル確認のメッセージが表示されるので、キャンセルを行ってください。
- 連携ステータス（個別）が「依頼待ち」から「キャンセル依頼待ち」に変化し、キャンセル依頼が Senju/DC へ連携されるのを待つ状態となります。

予定日時	連携ステータス (個別)	コマンド名	
2020/12/10 15:00	キャンセル依頼待ち	システムの起動	
2020/12/10 16:00	依頼待ち	システムの停止	
2020/12/11 13:00	依頼待ち	プロセスの停止	
2020/12/11 19:00	依頼待ち	反映 (ノード定義)	

連携ステータス（個別）が
「キャンセル依頼待ち」となる



仕様説明

キャンセルは連携ステータス（個別）が依頼待ちの時のみ行えます。
既に連携処理が行われていた場合、キャンセルは行えません。

2. 依頼を一括でキャンセルする

「1 依頼をキャンセルする」に引き続き、プロセスのレコードに登録されたすべての依頼をキャンセルする操作を説明します。

1. 承認済みとなったレコードのプロセス詳細を表示します。
2. 項目「連携ステータス」の右端にある[キャンセル]ボタンをクリックします。



3. キャンセル確認のメッセージが表示されるので、キャンセルを行ってください。
4. 各 SSA 連携項目の依頼の内、キャンセル処理を行える依頼について、連携ステータス(個別)が「依頼待ち」から「キャンセル依頼待ち」に変化し、キャンセル依頼が Senju/DC への連携されるのを待つ状態となります。



仕様説明

キャンセルは連携ステータス(個別)が依頼待ちの依頼が1件でも存在した場合、行えます。既に連携処理が行われていた依頼が混在していた場合、キャンセル可能な依頼にのみ処理を行います。

3. 依頼を一括でクローズする

プロセスのレコードに登録されたすべての依頼をクローズする操作を説明します。

詳細な使用方法はコマンドリファレンスを参照してください。

4. 連携ステータス（個別）を手動で変更する

連携ステータス（個別）を手動で変更する操作を説明します。

- 承認済みとなったレコードのプロセス詳細を表示します。
- SSA 連携項目の詳細画面を表示します。
- 項目「連携ステータス（個別）」の右端にある[↔]ボタンをクリックします。



- 連携ステータス（個別）更新画面が表示されるので、項目「変更後連携ステータス（個別）」を選択してください。



- 連携ステータス（個別）が変更後の値に変化し、手動更新を実施したことを表すアイコンが表示されます。



連携ステータス（個別）を手動で変更する際は操作指示ごと以下の仕様となります。



仕様説明

操作指示	連携ステータス（個別）	変更値
スキップ指定	依頼待ち、依頼中、連携なし、 依頼失敗、不明、キャンセル依頼待ち	依頼成功
スキップ解除		
起動時刻変更※		
一時停止指定	依頼待ち、依頼中、依頼なし、 依頼失敗、不明、キャンセル依頼待ち	解除指示待ち
	解除指示待ち	依頼成功
一時停止解除	解除実施待ち、解除依頼待ち、依頼中、 連携なし、依頼失敗、不明、 キャンセル依頼待ち	依頼成功

※操作指示=起動時刻変更は業務グループ起動時刻変更のみが手動更新の対象となります。



仕様説明

業務グループ起動時刻変更の場合は、プロセス詳細の業務グループ起動時刻変更ブロックの「ジョブ申請内容一覧」をクリックし、表示されるジョブ申請内容一覧画面の「ジョブ名」（ジョブ省略時はネット名）リンクをクリックすることにより業務グループ起動時刻変更ジョブ詳細画面が表示されます。

5. 実行システムの情報をコピーする

ジョブに対する依頼を行う SSA 連携項目では、Senju/DC で作成された実行システムをマスタ検索し、実行システムの定義情報を依頼にコピーすることができます。

コピー対象項目
接続先名
運用日付
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名

1. ジョブに対する依頼を行う SSA 連携項目の新規登録／編集を表示します。
2. 画面上部の[検索]ボタンをクリックします。



3. フレーム・ネット・ジョブ検索が表示されます。
任意の検索条件を指定し、実行システムを検索してください。
4. 検索結果一覧でコピーしたいレコードの[反映]ボタンをクリックすると、実行システムの定義が依頼の新規登録／編集画面に反映されます。



項目名（検索条件）	説明
絞り込み（〇〇を検索）	<p>「フレーム」「ネット」「ジョブ」から選択します。 SSA 連携項目の新規登録／編集に反映する際は、絞り込んだ階層までを反映します。</p> <p>例えば「フレーム」で検索した場合、フレームの定義のみを検索とします。この時、検索結果一覧のネット名・ジョブ名列は空で表示します。またフレーム名まで同じでネット名・ジョブ名が異なる実行システムはマージされ1レコードのみ表示します。</p> <p>ジョブを検索する場合、ジョブが空で作成された実行システムは検索対象外となります。</p>
接続先名	接続先名で検索します。
運用日付	運用日付を期間指定で検索します。
連携システム	連携システム名で検索します。
フレーム名	フレーム名で検索します。
ネット名	ネット名で検索します。
ジョブ名	ジョブ名で検索します。



補助設定

コピー対象の項目を参照表示にし、ユーザーによる自由入力を許可しない設定にできます。

・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名

SSA フレーム・ネット・ジョブ検索結果反映項目の入力制御設定



仕様説明

実行システムの情報は Senju/EN 経由で Senju/DC より取得し、Senju/SM 内に保存されます。取得されるフレーム情報は、システム日付から 7 日間分です。情報が更新されるタイミングは「1.5.3 連携フロー」の仕様説明をご確認ください。

フレーム・ネット・ジョブ検索で検索される実行システムの情報は以下となります。

■ フレーム・ネット・ジョブの構成による表示対象

Senju/DC で作成されたフレーム・ネット・ジョブを、フレーム・ネット・ジョブ検索画面で検索する際の絞り込み条件および、検索結果への表示制約は以下となります。

上位オブジェクト	検索対象オブジェクト	絞込み時に指定する条件
システム	フレーム	「フレーム」を指定
	ノードグループネット	「フレーム」を指定
フレーム	ネット	「ネット」を指定
	ノードグループネット	「ネット」を指定
	繰り返しネット	「ネット」を指定
	異常時ネット	「ネット」を指定
	ジョブ	「ジョブ」を指定
ネット	ネット	「ネット」を指定
	ノードグループネット	「ネット」を指定
	繰り返しネット	「ネット」を指定
	異常時ネット	「ネット」を指定
	ジョブ	「ジョブ」を指定
ノードグループネット	ノードグループネット (展開後)	検索不可
ノードグループネット (展開後)	異常時ネット	検索不可
	ジョブ	検索不可
繰り返しネット	繰り返しネット (展開後)	「ネット」を指定
繰り返しネット (展開後)	異常時ネット	「ネット」を指定
	ジョブ	「ジョブ」を指定
異常時ネット	ジョブ	「ジョブ」を指定

■その他の条件による表示制限

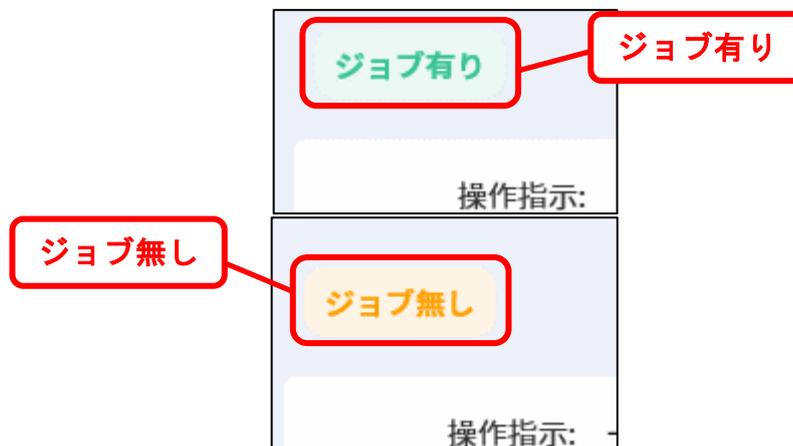
フレーム・ネット・ジョブ検索画面では下記の制約条件に合致する実行システムの情報は検索結果に表示されません。

対象項目	検索不可となる条件
稼働日カレンダー	営業日カレンダーのデータが過去の年度しか存在しない
フレームの稼働日カレンダー	フレームとなるネットに指定された稼働日カレンダーが非稼働日に該当する
フレームの運用開始日	検索条件に指定した日付がフレームとなるネットに指定された運用開始日より前に該当する
システム	システムにフレームとなるネットが1件も登録されていない
動作環境	動作環境が指定されていない
ノードグループネット	動作環境の定義がノードグループからノードに変更されている
	動作環境に指定されたノードグループにノードが1件も存在しない
	動作環境に指定されたノードグループにエージェントが1件も存在しない(センサーまたは、その他ノードのみ登録されている)
	動作環境に指定されたノードグループのノード数が512を越えている
	定義有効開始日と定義有効終了日で指定された期間に該当しない
	ノードグループネット内にジョブが1件も存在しない
	ノードグループネット内にジョブの後続になっていない異常時ネットが存在する
ネット	フレーム内に同一ネット名が存在する
	定義有効開始日と定義有効終了日で指定された期間に該当しない
	ネット内にジョブ/ネット/ノードグループネット/繰り返しネットが1件も存在しない
	ネット内にジョブの後続になっていない異常時ネットが存在する
繰り返しネット	定義有効開始日と定義有効終了日で指定された期間に該当しない
	繰り返しネット内にジョブが1件も存在しない
	繰り返しネット内にジョブの後続になっていない異常時ネットが存在する
異常時ネット	定義有効開始日と定義有効終了日で指定された期間に該当しない
	異常時ネット内にジョブが1件も存在しない
飛び越しネット	フレーム内に前ネットとして指定された飛び越しネットが存在しない

6. 存在する実行システムに対する依頼か確認する

ジョブに対する依頼を行う SSA 連携項目では、依頼に設定したフレーム・ネット・ジョブが実行システムのマスタ上に存在するか確認することができます。

1. プロセス詳細／新規登録／編集から、各 SSA 連携項目の依頼の詳細を表示します。
画面左上のマスタの存在チェック結果がステータス表示されます。
存在する場合は「ジョブ有り」、存在しない場合は「ジョブ無し」が表示されます。



2. プロセス詳細／新規登録／編集から、各 SSA 連携項目の申請内容一覧を表示します。
検索結果一覧の左端にマスタの存在チェック結果がアイコン表示されます。





3. フレーム・ネット・ジョブ申請一覧を表示します。

検索結果一覧の左端にマスタの存在チェック結果がアイコン表示されます。

※アイコンのイメージは「1.4.9 外部連携（Senju Family 連携）」を参照してください。



仕様説明

チェック元となるジョブ定義はフレーム・ネット・ジョブ検索の検索対象と同一です。



仕様説明

依頼に指定した以下の項目が一致した場合に、存在有りと判定します。

チェック対象項目
接続先名
運用日付
連携システム
フレーム名
ネット名 ※
ジョブ名 ※

※ネット名、ジョブ名の両方を省略した場合、[フレーム有り（無し）]と表示します。

※ジョブ名を省略した場合、[ネット有り（無し）]と表示します。



仕様説明

依頼を登録したプロセスのレコードがクローズとなった場合、アイコンは表示されません。



仕様補足

ジョブ定義の反映に時間がかかる場合、ジョブ定義の反映処理が打ち切られる可能性があります。

Senju/EN の動作状況をご確認ください。

1.4.8 プロセス管理

1.4.8.1 プロセス詳細

プロセス詳細の項目「連携ステータス」で、プロセスのレコードに登録された依頼全体の連携状況を確認することができます。

連携ステータス: 依頼待ち

キャンセル



仕様説明

連携ステータスに設定される値については「1.5.2-3 連携ステータス」「1.5.2-5 補助資料 2：連携ステータス更新仕様一覧」を参照してください。

1.4.8.2 プロセス一覧

プロセス一覧の検索条件項目を使用して、依頼を検索条件にプロセスのレコードを検索できます。

項目名 (検索条件)	説明
連携ステータス	プロセスの項目「連携ステータス」で、依頼に登録したプロセスのレコードを検索します。 ※各 SSA 連携項目の各依頼の連携ステータス（個別）とは別項目です。
接続先名 (RBA)	ランブック実行のみを検索対象とします。 ランブック実行の依頼に設定した「接続先名」で検索します。
ブック名	ランブック実行のみを検索対象とします。 ランブック実行の依頼に設定した「ブック名」で検索します。

1. 自動リロード機能

一定期間毎に自動で再検索を行うことができます。



必須設定

本機能を利用するには以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名	
一覧画面自動更新の利用設定	

- ・ [利用者メニュー > ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定]

デフォルト設定階層	項目名
最上位	プロセス管理
第 2 階層	任意のプロセス画面
第 3 階層	自動更新の初期設定



補助設定

本機能は以下の設定の影響を受けます。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
プロセス一覧画面リロード間隔(分)



仕様説明

リロード時に使用される検索条件は最後に検索が行われた時の条件です。編集中だった検索条件や、[利用者メニュー > ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定]で指定したデフォルトの検索条件は使用されません。

- ※検索条件の保存や、出力件数の多い帳票出力を行う場合は一時的に自動更新の実行をしない設定にしてから行ってください。

1.4.9 外部連携（Senju Family 連携）

1.4.9.1 フレーム・ネット・ジョブ申請一覧

フレーム・ネット・ジョブ申請一覧では SSA 連携項目の内、フレーム・ネット・ジョブに関連する依頼をプロセスのレコードをまたいで検索することができます。

SSA 連携項目	検索対象
コマンド実行	×
ランブック実行	×
フレーム・ネット・ジョブ一時停止	○
フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除	○
ネット・ジョブ起動時刻変更	○
業務グループ起動時刻変更	○

1. 利用者メニューから[外部連携 > Senju Family 連携 > フレーム・ネット・ジョブ申請]に移動します。
2. フレーム・ネット・ジョブ申請一覧が表示されます。
3. 任意の検索条件を指定し、検索を行ってください。
フレーム・ネット・ジョブ申請検索結果一覧では申請を起票したプロセスのレコード単位ではなく、依頼単位で一覧表示されます。

フレーム・ネット・ジョブ申請一覧

検索条件: デフォルト検索条件 検索条件を編集

画面名: プロセス管理1 プロセス1

申請元ID:

システム: 営業管理システム

申請状況:

ステータス:

連携ステータス(個別):

制御種類:

操作指示:

接続先名:

起動予定時刻:

解除予定日時: 日時指定

最終更新日時: 日時指定

連携システム:

フレーム名:

ネット名:

ジョブ名:

業務グループ:

リミット日付: 日付指定

リミット時刻:

リミット日時: 日時指定

運用日付: 日付指定

解除予定日時変更:

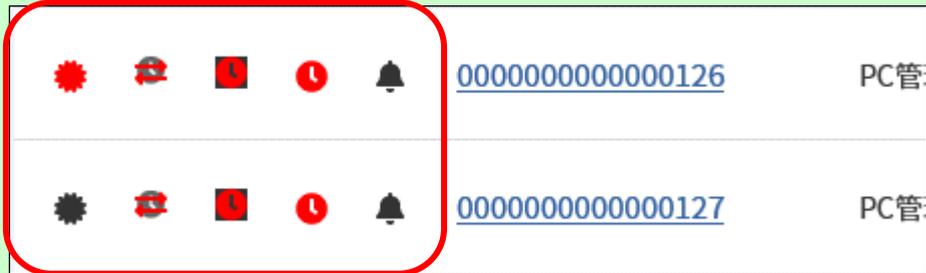
表示順: 申請元ID 降順 クリア 検索

1 - 10 / 14 帳票出力

申請元ID	システム	申請状況	ステータス	連携ステータス(個別)	制御種類	操作指示
0000000000000155	営業管理システム	承認済	新規	依頼成功	一時停止	一時停止解除
0000000000000153	営業管理システム	承認済	新規	依頼待ち	業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000153	営業管理システム	承認済	新規	依頼待ち	業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更
0000000000000147	営業管理システム	申請前	新規		業務グループ起動時刻変更	起動時刻変更

項目名 (検索条件)	説明
画面名	検索対象とするプロセスの画面名を選択します。 画面名を選択した後は、自動的に画面がリロードします。
申請元 ID	SSA 連携依頼を行ったプロセスのレコードのレコード ID で検索します。
システム	SSA 連携依頼を行ったプロセスのレコードのシステムで検索します。
申請状況	SSA 連携依頼を行ったプロセスのレコードの申請状況で検索します。
ステータス	SSA 連携依頼を行ったプロセスのレコードのステータスで検索します。
連携ステータス(個別)	各依頼の連携ステータス(個別)で検索します。
制御種類	操作指示と合わせて、各依頼の操作指示で検索します。 以下より選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・スキップ／解除 ・一時停止 ・起動時刻変更 ・業務グループ起動時刻変更
操作指示	制御種類と合わせて、各依頼の操作指示で検索します。 以下より選択します。 <p>【制御種類が「スキップ／解除」の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキップ指定 ・スキップ解除 <p>【制御種類が「一時停止」の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時停止指定 ・一時停止解除 <p>【制御種類が「起動時刻変更」または「業務グループ起動時刻変更」の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起動時刻変更
接続先名	依頼に設定した接続先名で検索します。
起動予定時刻	依頼に設定した起動予定時刻で検索します。
解除予定日時	依頼に設定した解除予定日時で検索します。
最終更新日時	依頼の最終更新日時で検索します。
連携システム	依頼に設定した連携システムで検索します。
フレーム名	依頼に設定したフレーム名で検索します。
ネット名	依頼に設定したネット名で検索します。
ジョブ名	依頼に設定したジョブ名で検索します。
業務グループ	依頼に設定した業務グループ名で検索します。
リミット日付	依頼に設定したリミット日付で検索します。
リミット時刻	依頼に設定したリミット時刻で検索します。
リミット日時	依頼に設定したリミット日時で検索します。
運用日付	依頼に設定した運用日付で検索します。
解除予定日時変更	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼にのみ有効な検索条件です。プロセスのレコードが承認済みとなった後に、解除予定日・解除予定時刻が変更されたかを検索します。 以下より選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・あり ・なし

結果一覧の先頭には各種アラートアイコンが表示されます。



アイコン (左から)	説明		
フレーム・ネット・ネット有り／無し	依頼に設定したフレーム・ネット・ジョブが実行システムのマスタ上に存在するか示します。 ※マスタ上に存在するかのチェック仕様は「1.4.7-6 存在する実行システムに対する依頼か確認する」を参照してください。		
解除予定日時変更警告	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼にのみ表示されます。プロセスのレコードが承認済みとなった後に、解除予定日・解除予定時刻が変更されたことを示します。		
リミット時刻警告	プロセスのレコードが承認済み、かつ依頼に設定したリミット日時がしきい値（※1）を過ぎても、依頼が実行されていないこと（※2）を示します。 ※1…チェックのしきい値は以下の設定から変更できます。 ・ [管理者メニュー>制御情報>制御情報>利用者メニュー>フレーム・ネット・ジョブ申請] <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>管理項目名</td></tr> <tr><td>SSA 連携の連携期限予告時間(分)</td></tr> </table> ※2…連携ステータス（個別）が「依頼待ち」「依頼中」「依頼失敗」の場合、依頼が実行されていないとみなします。	管理項目名	SSA 連携の連携期限予告時間(分)
管理項目名			
SSA 連携の連携期限予告時間(分)			
解除未実施警告	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼にのみ表示されます。一時停止が行われた後、解除予定日時がしきい値（※1）を過ぎても、一時停止解除を行われていないことを示します。 ※1…チェックのしきい値は以下の設定から変更できます。 ・ [管理者メニュー>制御情報>制御情報>利用者メニュー>フレーム・ネット・ジョブ申請] <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>管理項目名</td></tr> <tr><td>SSA 連携の一時停止解除期限予告時間(分)</td></tr> </table>	管理項目名	SSA 連携の一時停止解除期限予告時間(分)
管理項目名			
SSA 連携の一時停止解除期限予告時間(分)			
解除実施待ち警告	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の依頼にのみ表示されます。Senju Service Manager で一時停止解除指示の操作後、一時停止解除実施の操作が行われていないことを示します。		



申請内容の変更や承認申請はプロセス管理から行います。
申請元 ID のリンクをクリックし、プロセス詳細を表示してください。



[クリア]ボタンをクリックすると、入力した検索条件と検索結果一覧が初期化されます。



起動予定時刻の入力可能範囲は、00:00～99:59 となります。

仕様説明

1. 帳票出力

検索結果を CSV 形式で帳票出力できます。

1. フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で検索を行います。
2. 検索結果一覧で[帳票出力]ボタンをクリックします。
3. ファイルの保存ダイアログが起動するので任意のフォルダに帳票出力ファイルを保存してください。



Senju Service Manager の帳票出力機能の制限事項を、ユーザーズガイド「操作ガイド」の「3.5.1.6 プロセスの帳票出力」で参照してください。

仕様説明

2. 検索条件の保存

頻繁に検索する条件と表示順を保存することができます。

本項の操作手順は Senju Service Manager マニュアルのユーザーズガイド「3.5.1.2-7 検索条件の保存」を参照してください。

3. 自動リロード機能

一定期間毎に自動で再検索を行うことができます。

本機能を利用するには以下の設定を行う必要があります。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > フレーム・ネット・ジョブ申請]

管理項目名
一覧画面自動更新の利用設定



必須設定

- ・ [ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定]

デフォルト設定階層	項目名
最上位	外部連携
第2階層	フレーム・ネット・ジョブ申請
第3階層	自動更新の初期設定



補助設定

本機能は以下の設定の影響を受けます。

- ・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > フレーム・ネット・ジョブ申請]

管理項目名
フレーム・ネット・ジョブ申請一覧画面リロード間隔(分)



仕様説明

リロード時に使用される検索条件は最後に検索が行われた時の条件です。編集中だった検索条件や、[ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定]で指定したデフォルトの検索条件は使用されません。

※検索条件の保存や、出力件数の多い帳票出力を行う場合は一時的に自動更新の実行をしない設定にしてから行ってください。

1.4.9.2 業務グループ定義

SSA 連携機能で使用するプロセス管理の項目「業務グループ起動時刻変更」で使用する業務グループ定義を管理します。

1. 利用者メニューから[外部連携>Senju Family 連携>業務グループ定義]へ移動します。
2. 業務グループ定義が表示されます。

任意の検索条件を入力し検索を行ってください。

業務グループ定義一覧

画面名: プロセス管理1 | プロセス1

システム: 営業管理システム | ID:

接続先名: | 業務グループ:

ステータス:

表示順: |

クリア 検索

1 - 5 / 5

ID	業務グループ	システム	接続先名	通常起動時刻	最大延長時刻
0000000000000003	ジョブグループA	営業管理システム	socCorpSetting	09:00	12:00
0000000000000004	ジョブグループB	営業管理システム	sjoc01	09:00	18:00
0000000000000005	ジョブグループC	営業管理システム	sjoc01	10:00	15:00
0000000000000006	ジョブグループD	営業管理システム	socCorpSetting	13:00	18:00
0000000000000007	ジョブグループE	営業管理システム	socCorpSetting	09:00	18:00

1. 業務グループ定義を登録

1. 業務グループ定義で[新規登録]ボタンをクリックします。
2. 業務グループ定義新規登録が表示されます。

任意の内容を入力し、登録を行ってください

業務グループ定義新規登録
キャンセル
登録

画面名*

ID:

システム*

業務グループ*

接続先名*

通常起動時刻* 最大延長時刻*

登録日時:

登録者:

ステータス 有効 無効

業務グループ内容 [拡大して表示](#)

延長上の注意 [拡大して表示](#)

コマンド名 [拡大して表示](#)

最終更新日時:

最終更新者:

NO	連携システム*	フレーム名*	ネット名*	ジョブ名	相対時刻*
1	<input type="text"/>				
2	<input type="text"/>				
3	<input type="text"/>				

依頼に登録できる項目の説明は「1.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。入力桁数等の項目定義については Senju/SM マニュアルの項目一覧を参照してください。

システムは 1 システムのみ選択できます。(複数選択不可)

通常起動時刻、最大延長時刻、相対時刻は、24:00 を超える値の入力が行えます。

フレーム・ネット・ジョブ情報は最大 10 件まで登録が可能です。

(C) Nomura Research Institute, Ltd.

1-77



仕様説明

ジョブ名は省略して入力することができます。

- ・ ジョブ名を省略した場合は、入力したフレーム/ネットを指定した業務グループになります。
- ・ ジョブ名まで入力した場合は、入力したフレーム・ネット・ジョブを指定した業務グループになります。

それぞれの実際の動作につきましては、「Senju DevOperation Conductor ユーザーズガイド」を参照してください。



仕様説明

ジョブ名を省略した場合、フレーム名とネット名に同じ値を入力することはできません。

キャンセル 更新

業務グループ定義編集:受注情報更新

画面名: プロセス管理1
プロセス1

ID: 0000000000000002

システム* ☰

業務グループ*

接続先名*

通常起動時刻* 最大延長時刻*

登録日時: 2016/02/23 14:17:05

登録者: [天空橋 信一郎](#)

ステータス 有効 無効

業務グループ内容 ☰ 拡大して表示

延長上の注意 ☰ 拡大して表示

コマンド名 ☰ 拡大して表示

最終更新日時: 2016/02/23 14:17:05

最終更新者: [天空橋 信一郎](#)

NO	連携システム*	フレーム名*	ネット名*	ジョブ名	相対時刻
1	<input type="text" value="system001"/>	<input type="text" value="frame001"/>	<input type="text" value="net001"/>	<input type="text" value="job001"/>	<input type="text" value="0010"/>
2	<input type="text" value="system002"/>	<input type="text" value="frame002"/>	<input type="text" value="net002"/>	<input type="text" value="job002"/>	<input type="text" value="0020"/>
3	<input type="text" value="system003"/>	<input type="text" value="frame003"/>	<input type="text" value="net003"/>	<input type="text" value="job003"/>	<input type="text" value="0025"/>
4	<input type="text" value="system004"/>	<input type="text" value="frame004"/>	<input type="text" value="net004"/>	<input type="text" value="job004"/>	<input type="text" value="0030"/>
5	<input type="text" value="system005"/>	<input type="text" value="frame005"/>	<input type="text" value="net005"/>	<input type="text" value="job005"/>	<input type="text" value="0033"/>
6	<input type="text" value="system006"/>	<input type="text" value="frame006"/>	<input type="text" value="net006"/>	<input type="text" value="job006"/>	<input type="text" value="0040"/>
7	<input type="text" value="system007"/>	<input type="text" value="frame007"/>	<input type="text" value="net007"/>	<input type="text" value="job007"/>	<input type="text" value="0045"/>
8	<input type="text" value="system008"/>	<input type="text" value="frame008"/>	<input type="text" value="net008"/>	<input type="text" value="job008"/>	<input type="text" value="0050"/>
9	<input type="text" value="system009"/>	<input type="text" value="frame009"/>	<input type="text" value="net009"/>	<input type="text" value="job009"/>	<input type="text" value="0055"/>
10	<input type="text" value="system010"/>	<input type="text" value="frame010"/>	<input type="text" value="net010"/>	<input type="text" value="job010"/>	<input type="text" value="0100"/>



仕様説明

更新した業務グループ定義の内容は、既にプロセス管理で登録された業務グループ起動時刻変更の依頼には反映されません。

3. 業務グループ定義を削除

1. 業務グループ定義の検索結果一覧で、業務グループのリンクをクリックします。
2. 業務グループ定義詳細が表示されます。
3. 画面上部の[削除]ボタンをクリックします。
4. 削除確認のメッセージが表示されるので、削除を行ってください。



仕様説明

削除した業務グループ定義は、既にプロセス管理で登録された業務グループ起動時刻変更の依頼には影響しません。

4. 業務グループ定義をコピーする

1. 業務グループ定義の検索結果一覧で、コピーしたい業務グループのリンクをクリックします。
2. 業務グループ定義詳細が表示されます。
3. 画面上部の[コピー登録]ボタンをクリックします。
4. 業務グループ定義新規登録が表示されます。
5. 新規登録と同様に任意の内容を入力し、登録を行ってください。

コピー対象項目
画面名
システム
業務グループ
接続先名
通常起動時刻
最大延長時刻
業務グループ内容
延長上の注意
コマンド名
連携システム
フレーム名
ネット名
ジョブ名
相対時刻

1.4.10 機能別（外部ツール連携）

1.4.10.1 ランブックテンプレート管理

SSA 連携機能で使用するプロセス管理の項目「ランブック実行」で使用するテンプレートを管理します。

1. 管理者メニューから[機能別 > 外部ツール連携 > ランブックテンプレート]へ移動します。
2. ランブックテンプレート管理が表示されます。

既にテンプレートが登録されている場合は、任意の検索条件を入力し検索を行ってください。

ランブックテンプレート管理

新規登録

画面名* プロセス管理1

プロセス1

システム

テンプレート名

接続先名

ブック名

ステータス

クリア 検索

1 - 10 / 23

テンプレート名	システム	接続先名	ブック名	表示順	ステータス	最終更新日	
SRV_サーバー停止手順	全システム共通	socCorpSetting	srv_1_001		有効	2014/07/18	編集
SRV_サーバー起動手順	全システム共通	socCorpSetting	srv_1_002		有効	2014/07/18	編集
SRV_サーバーOSパッチ適用手順	全システム共通	socCorpSetting	srv_2_001		有効	2014/07/18	編集
SRV_サーバーバックアップ取得手順	全システム共通	socCorpSetting	srv_3_001		有効	2014/07/18	編集
SRV_サーバーバックアップ復旧手順	全システム共通	socCorpSetting	srv_3_002		有効	2014/07/18	編集

1. テンプレートを登録

1. ランブックテンプレート管理で[新規登録]ボタンをクリックします。
2. ランブックテンプレートマスタ新規登録に移動します。

3. 任意の内容を入力し、登録を行ってください。

項目名	説明
画面名	テンプレートを使用するプロセスの画面を指定します。
システム	テンプレートを使用するシステムを指定します。 ランブック実行の依頼を登録するプロセスのレコードに設定したシステムと連動します。
テンプレート名	テンプレートの管理名を指定します。
ステータス	テンプレートの有効/無効を指定します。 無効としたテンプレートは、ランブック実行から選択できるテンプレートの対象外となります。
表示順	テンプレートの表示順を指定します。
接続先名	プロセスの項目「ランブック実行」と同じです。
ブック名	プロセスの項目「ランブック実行」と同じです。
環境変数 1~20	プロセスの項目「ランブック実行」と同じです。
稼働ノード	プロセスの項目「ランブック実行」と同じです。

2. テンプレートを編集

1. ランブックテンプレート管理の検索結果一覧で、任意のテンプレートの[編集]ボタンをクリックします。
2. ランブックテンプレートマスタ編集に移動します。
3. 新規登録と同様に任意の内容を入力し、更新を行ってください。



仕様説明

更新したテンプレートの内容は、既にプロセス管理で登録されたランブックテンプレートをコピーしたランブック実行の依頼には反映されません。

3. テンプレートを削除

1. ランブックテンプレート管理の検索結果一覧で、任意のテンプレートの[編集]ボタンをクリックします。
2. ランブックテンプレートマスタ編集に移動します。
3. [削除]ボタンをクリックします。
4. 削除確認のメッセージが表示されるので、削除を行ってください。



仕様説明

削除したテンプレートは、既にプロセス管理で登録されたランブックテンプレートをコピーしたランブック実行の依頼には影響しません。

1.4.11 コマンドリファレンス

1.4.11.1 データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe)

SSA 連携機能で使用するプロセス管理の項目「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」「フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除」「ネット・ジョブ起動時刻変更」は、データ出力コマンドで出力することができます。

詳細な使用方法はコマンドリファレンスを参照してください。

1.5 資料集

Senju Service Automation 連携機能全般の仕様について記します。

1.5.1 用語説明

Senju Service Automation 連携機能の説明に使用する用語について説明します。

1. 文章中の表記

資料の説明中の文言について説明します。

用語	説明
Senju/DC	Senju DevOperation Conductor の略称です。
Senju/EN	Senju Enterprise Navigator の略称です。
Senju/SM	Senju Service Manager の略称です。
SSA	Senju Service Automation の略称です。
SSA 連携項目	Senju/SM のプロセス管理の項目の内、「コマンド実行」、「ランブック実行」、「フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除」、「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」、「ネット・ジョブ起動時刻変更」、「業務グループ起動時刻変更」のことを指します。
依頼	Senju/SM の各 SSA 連携項目に登録されたレコードのことを指します。依頼は最終的に Senju/DC で実行されます。例えば「コマンド実行に依頼を登録する」と表記します。
依頼の仮登録/仮更新/仮削除	Senju/SM のプロセス新規登録/編集で、各 SSA 連携項目に依頼を登録/更新/削除すること指します。
依頼の登録	プロセスのレコードの登録/更新を行い、仮登録・仮更新・仮削除した依頼を確定することを指します。
依頼の申請	Senju/SM の各 SSA 連携項目に登録した依頼を Senju Family 製品に連携することを指します。Senju/SM の承認申請機能の説明を行う場合は、「承認申請を行う」「承認申請を承認する」といった表記を行います。
連携	Senju/SM で登録した依頼が Senju Family 製品で処理されることを指します。主に以下の処理を指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Senju/SM に登録した依頼の連携ステータスを Senju/EN が更新する。 ・ Senju/SM に登録した依頼の Senju/DC での実行結果を Senju/EN が更新する。 ・ Senju/DC で作成した実行システムの定義を Senju/EN が Senju/SM に連携する。
連携ステータス	依頼の連携状況を指します。各ステータスの意味は「1.5.2 連携ステータスの説明」を、ステータスの遷移については「1.5.3 連携フロー」を参照してください。
システム	特に記載がない限り、Senju/SM と言うところのシステムを指します。Senju/DC と言うところのシステムについては「実行システム」として表記します。「実行システム」は Senju/SM の各 SSA 連携項目の「連携システム」に当たります。
DC 実行結果	Senju/SM の各 SSA 連携項目の以下の明細項目を指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンド実行結果 ・ ランブック実行結果 ・ フレーム・ネット・ジョブスキップ実行結果 ・ フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果 ・ ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果

2. Senju Service Manager の Web 画面項目

Senju/SM の Web 画面項目の一覧表です。

表中の○は該当の画面に存在する項目かを示します。

表の列の略称について説明します。

列名	説明
プロセス	プロセス管理の詳細項目です。
申請一覧	「1.4.9.1 フレーム・ネット・ジョブ申請一覧」の項目です。
	○ 検索条件として指定できる項目です。
	● 検索結果一覧に表示される項目です。
コマンド	コマンド実行の明細項目です。
ランブック	ランブック実行の明細項目です。
スキップ	フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除の明細項目です。
一時停止	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の明細項目です。
起動時刻	ネット・ジョブ起動時刻変更の明細項目です。
業務グループ	業務グループ起動時刻変更の明細項目です。



項目名	説明	プロセス	申請一覧	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
接続先名	依頼を連携する対象の Senju/DC を選択します。 事前にコードマスタ管理でプロセス管理のコード「接続先名」に SEN コンフィグレータの Senju Service Automation 設定画面(全般)で設定した Senju DevOperation Conductor 連携設定名を登録しておく必要があります。	-	○ ●	○	○	○	○	○	○
連携ステータス	プロセスのレコードに登録したすべての依頼の連携状態を示します。	○	-	-	-	-	-	-	-
連携ステータス (個別)	プロセスのレコードに登録した依頼の個々の連携状態を示します。	-	○ ●	○	○	○	○	○	-
SEN 実行結果	Senju/EN の依頼の連携結果を表示します。	-	-	○	○	○	○	○	-
コマンド実行結果	Senju/DC での依頼の実行結果を表示します。 ※Senju/DC の「SpMessage.log」および「SpOperation.log」に出力される実行結果と同等の内容を確認できます。	-	-	○	-	-	-	-	-
ランブック実行結果	同上	-	-	-	○	-	-	-	-
フレーム・ネット・ジョブスキップ実行結果	同上	-	-	-	-	○	-	-	-

項目名	説明	プロセス	申請一覧	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果	同上	-	-	-	-	-	○	-	-
ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果	同上	-	-	-	-	-	-	○	-
通常起動時刻	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブを起動する時刻を入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
最大延長時刻	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブを起動する時刻を最大に延長できる時刻です。	-	-	-	-	-	-	-	○
業務グループ内容	業務グループ内容を入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
延長上の注意	延長上の注意事項を入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
コマンド名	コマンド名を入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
運用日付範囲指定	運用日付の範囲指定を行う際にチェックします。	-	-	-	-	-	-	-	○
変更起動時刻	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブの起動する時刻を変更する場合に入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
再変更起動時刻	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブを起動する時刻を再変更する場合に入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
連携ステータス(業務グループ)	プロセスのレコードに登録した依頼の業務グループ毎の連携状態を示します。	-	-	-	-	-	-	-	○
連携キャンセル実施日時	依頼をキャンセルした日時です。	-	-	○	○	○	○	○	○
連携キャンセル実施者	依頼をキャンセルしたユーザーです。	-	-	○	○	○	○	○	○
起動時刻再変更指示日時	再変更依頼が登録された日時です。	-	-	-	-	-	-	-	○
起動時刻再変更指示者	再変更依頼を登録したユーザーです。	-	-	-	-	-	-	-	○
起動時刻再変更実施日時	再変更依頼が実施された日時です。	-	-	-	-	-	-	-	○
起動時刻再変更実施者	再変更依頼を実施したユーザーです。	-	-	-	-	-	-	-	○
登録日時	依頼が登録された日時です。	-	-	○	○	○	○	○	○
登録者	依頼を登録した Senju/SM のユーザーです。	-	-	○	○	○	○	○	○

項目名	説明	プロセス	申請一覧	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
最終更新日時	依頼が更新された日時です。	-	-	○	○	○	○	○	○
最終更新者	依頼を更新した Senju/SM のユーザーです。 ※Senju/EN により連携結果が更新された場合、空で登録されます。	-	-	○	○	○	○	○	○
予定日付	Senju/DC で依頼を実行する日時を入力します。	-	-	○	○	-	-	-	-
予定時刻	同上	-	-	○	○	-	-	-	-
コマンド名	Senju/DC に登録した千手コマンド名、ユーザーコマンド名を入力します。 ※上記以外のコマンド名の入力を行わないでください。	-	-	○	-	-	-	-	-
コマンドシーケンス	Senju/DC で実行するコマンドシーケンスを入力します。コマンドシーケンスは千手コマンド、及びユーザーコマンドを入力してください。 ※上記以外のコマンドシーケンスの入力を行わないでください。	-	-	○	-	-	-	-	-
ブック名	Senju/DC で実行するランブックオートメーションのブック名を入力します。事前にコードマスタ管理でプロセス管理のコード「ブック名」を登録していた場合、コード名をコピーすることができます。	-	-	-	○	-	-	-	-
環境変数 1~20	Senju/DC で実行するブックでユーザー定義の環境変数に設定する値を入力します。	-	-	-	○	-	-	-	-
稼働ノード	Senju/DC でブックを実行するノードを入力します。稼働ノードは以下の場合に入力してください。 ・実行するノードを指定する場合 ・特定のユーザーで実行させる場合 ・千手センサーで実行する場合	-	-	-	○	-	-	-	-
制御種類	フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で、登録済の依頼を操作指示で絞込む為の検索条件項目です。スキップ/解除、一時停止、起動時刻変更から選択できます。	-	○ ●	-	-	-	-	-	-
操作指示 (スキップ指定)	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブに対する操作指示です。	-	○ ●	-	-	○	-	-	-
操作指示 (スキップ解除)	同上	-	○ ●	-	-	○	-	-	-
操作指示 (一時停止指定)	同上	-	○ ●	-	-	-	○	-	-
操作指示 (一時停止解除)	同上	-	○ ●	-	-	-	○	-	-
操作指示 (起動時刻変更)	同上	-	○ ●	-	-	-	-	○	○

項目名	説明	プロセス	申請一覧	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
運用日付	Senju/DC で実行システムを作成する際に指定した運用日付を入力します。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
連携システム	Senju/DC で作成した実行システムの名称を入力します。フレームの投入が行われたシステム名を入力してください。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
フレーム名	Senju/DC で作成した実行システムに紐付いたフレームの名称を入力します。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
ネット名	Senju/DC で作成した実行システムに紐付いたネットの名称を入力します。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
ジョブ名	Senju/DC で作成した実行システムに紐付いたジョブの名称を入力します。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
相対時刻	通常起動時刻からの相対時刻を入力します。	-	-	-	-	-	-	-	○
業務グループ	指定された業務グループ定義の業務グループです。	-	○ ●	-	-	-	-	-	○
リミット日付	Senju/SM で依頼の申請を行える期限を入力します。	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
リミット時刻	同上	-	○ ●	-	-	○	○	○	○
解除予定日付	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブの一時停止を解除する予定日時を指定します。	-	-	-	-	-	○	-	-
解除予定時刻	同上	-	●	-	-	-	○	-	-
起動予定時刻	Senju/DC で作成した実行システム、それらに紐づくフレーム・ネット・ジョブを起動する時刻を指定します。	-	-	-	-	-	-	○	-
申請元 ID	プロセスのレコード ID です。フレーム・ネット・ジョブ申請一覧では項目名は「申請元 ID」となります。	-	●	-	-	-	-	-	-
組織名	プロセスの社内申請者情報項目の組織名です。	○	●	-	-	-	-	-	-
氏名	プロセスの社内申請者情報項目の氏名です。	○	●	-	-	-	-	-	-
内線番号	プロセスの社内申請者情報項目の内線番号です	○	●	-	-	-	-	-	-

1.5.2 連携ステータスの説明

表の列の略称について説明します。



仕様説明

列名	説明
コマンド	コマンド実行の明細項目です。
ランブック	ランブック実行の明細項目です。
スキップ	フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除の明細項目です。
一時停止	フレーム・ネット・ジョブ一時停止の明細項目です。
起動時刻	ネット・ジョブ起動時刻変更の明細項目です。
業務グループ	業務グループ起動時刻変更の明細項目です。

1. 連携ステータス（個別）

各 SSA 連携項目の依頼毎の連携ステータスの状態について記します。

連携ステータス （個別）	説明	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
依頼待ち	<p>【コマンド実行、ランブック実行の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> Senju/SM で依頼に設定した予定日時に達しておらず、Senju/EN から Senju/DC に依頼が行われていない状態。 <p>【その他の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> Senju/SM で依頼に設定した運用日付と同日付の Senju/DC の実行システムが投入されておらず、Senju/EN から Senju/DC への連携が行われていない状態。 	○	○	○	○	○	○
依頼中	<p>【コマンド実行、ランブック実行の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> Senju/SM で依頼に設定した予定日時に達している為、Senju/EN から Senju/DC に依頼を行っている状態。 <p>【その他の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> Senju/SM で依頼に設定した運用日付と同日付の Senju/DC の実行システムが投入され、Senju/EN から Senju/DC への連携を行っている状態。 	○	○	○	○	○	○
依頼成功	<p>【フレーム・ネット・ジョブ一時停止の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の操作指示が「一時停止指定」の場合、依頼成功ではなく解除指示待ちに遷移します。 <p>【その他の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> Senju/DC への依頼が連携され、依頼の実行が成功した状態。 	○	×	○	○	○	○

連携ステータス (個別)	説明	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
依頼失敗	<ul style="list-style-type: none"> Senju/DC への依頼に失敗した状態。 ※失敗となる例を記します。 【コマンド実行】 <ul style="list-style-type: none"> 依頼に設定された起動時刻を超えて Senju/EN へ連携された場合。 【ランブック実行】 <ul style="list-style-type: none"> 依頼に設定された起動時刻を超えて Senju/EN へ連携された場合。 誤った名称のランブック名を指定した場合。 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> 誤った名称のシステム名、フレーム名、ネット名、ジョブ名を指定した場合 依頼が承認済みとなった後、Senju/EN が起動しておらず、Senju/DC で依頼を実行できなかった場合。 	○	○	○	○	○	○
キャンセル	Senju/EN に連携され「依頼待ち」となった依頼に対して Senju/SM よりキャンセル操作を行い、キャンセル依頼が Senju/EN へ連携されキャンセルが成功した状態。	○	○	○	○	○	○
不明	Senju/EN または Senju/DC の再起動により EN-DC 間の接続が切断され、Senju/DC での依頼の実行状況を Senju/EN が取得できなかった状態。	○	○	○	○	○	○
連携なし	Senju/SM で依頼に設定したリミット日時を超過していた為、Senju/EN へ連携されなかった状態。	×	×	○	○	○	○
解除指示待ち	フレーム・ネット・ジョブ一時停止で操作指示が「一時停止指定」の依頼が成功し、Senju/SM で解除指示が行われるのを待っている状態。	×	×	×	○	×	×
解除実施待ち	フレーム・ネット・ジョブ一時停止で操作指示が「一時停止指定」の依頼が成功し、Senju/SM で解除指示が行われ、Senju/SM で解除実施が行われるのを待っている状態。	×	×	×	○	×	×
解除依頼待ち	フレーム・ネット・ジョブ一時停止で操作指示が「一時停止指定」の依頼に成功し、Senju/SM で解除指示・解除実施が行われ解除依頼を行っている状態、かつ Senju/EN から Senju/DC への解除依頼の連携が行われていない状態。	×	×	×	○	×	×
キャンセル依頼待ち	Senju/EN に連携され「依頼待ち」となった依頼に対して Senju/SM よりキャンセルを行ったが、Senju/EN から Senju/DC へ連携されていない状態。	○	○	○	○	○	○
起動成功	Senju/DC への依頼に成功し、ランブックが起動に成功した状態。 ※Senju/DC での起動成功後、ランブックの実行結果が「依頼失敗」等異常系の場合、該当のステータスで連携ステータスが再び更新される。 ※本ステータスからは「正常終了」「スキップ終了」「異常終了」へのみ遷移します。	×	○	×	×	×	×
正常終了	Senju/DC の該当ランブックが正常終了した状態。 ※「起動成功」もしくは「異常終了」から本ステータスに遷移します。	×	○	×	×	×	×

連携ステータス (個別)	説明	コマンド	ランブック	スキップ	一時停止	起動時刻	業務グループ
スキップ終了	Senju/DC の該当ランブックがスキップされた状態。 ※起動対象のランブックの打ち切り時間 (Senju/DC 上の項目) に過去の日時が設定された場合。	×	○	×	×	×	×
異常終了	Senju/DC の該当ランブックが異常終了した状態。 ※「起動成功」からのみ本ステータスに遷移します。	×	○	×	×	×	×
再変更実施待ち	Senju/EN に連携され「依頼成功」となった依頼に対して Senju/SM にて再変更指示を行った状態。	×	×	×	×	×	○
再変更実施却下	Senju/SM にて再変更指示後、再変更却下を行った状態。	×	×	×	×	×	○

2. 連携ステータス（業務グループ）

業務グループ単位の 連携ステータスの状態について記します。

依頼毎に異なった連携ステータス（個別）が設定された場合は、優先順位に従い判定が行われ、連携ステータス(グループ)が設定されます。

「4 補助資料 1：連携ステータス（業務グループ）更新仕様一覧」と合わせて確認してください。

連携ステータス	判断条件	優先順位
連携なし	全依頼の連携ステータス（個別）が「連携なし」の場合。	1
再変更実施待ち	1つでも「再変更実施待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	2
キャンセル依頼待ち	1つでも「キャンセル依頼待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	3
依頼待ち	1つでも「依頼待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	4
依頼中	1つでも連携ステータス（個別）が「依頼中」のステータスが存在した場合。	5
キャンセル（異常あり）	1つでも「キャンセル」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ1つでも「連携なし」、「依頼失敗」、「不明」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	6
キャンセル（案件完了）	1つでも「キャンセル」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ「キャンセル」、「依頼成功」以外の連携ステータス（個別）が存在しない。	7
案件完了（異常あり）	1つでも「依頼失敗」、「連携なし」、「不明」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	8
再変更実施却下	全依頼の連携ステータス（個別）が「再変更実施却下」の場合。	9
キャンセル	全依頼の連携ステータス（個別）が「キャンセル」の場合。	10
案件完了	全依頼の連携ステータス（個別）が「依頼成功」の場合。	11

3. 連携ステータス

プロセスのレコード全体の 連携ステータスの状態について記します。

依頼毎に異なった連携ステータス（個別）が設定された場合は、優先順位に従い判定が行われ、連携ステータスが設定されます。

「5 補助資料 2：連携ステータス更新仕様一覧」と合わせて確認してください。

連携ステータス	判断条件	優先順位
連携なし	全依頼の連携ステータス（個別）が「連携なし」の場合。	1
再変更実施待ち	1つでも「再変更実施待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	2
解除待ち	1つでも「解除指示待ち」、「解除実施待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	3
依頼待ち	1つでも「依頼待ち」、「解除依頼待ち」、「キャンセル依頼待ち」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	4
依頼中	1つでも連携ステータス（個別）が「依頼中」「起動成功」のステータスが存在した場合。	5
再変更実施却下 （異常あり）	1つでも「再変更実施却下」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ1つでも「連携なし」、「依頼失敗」、「不明」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	6
キャンセル （異常あり）	1つでも「キャンセル」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ1つでも「連携なし」または「依頼失敗」、「異常終了」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	7
再変更実施却下 （案件完了）	1つでも「再変更実施却下」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ「再変更実施却下」、「依頼成功」、「正常終了」、「スキップ終了」以外の連携ステータス（個別）が存在しない場合。	8
キャンセル （案件完了）	1つでも「キャンセル」の連携ステータス（個別）が存在し、かつ「キャンセル」、「依頼成功」、「正常終了」、「スキップ終了」以外の連携ステータス（個別）が存在しない場合。	9
案件完了 （異常あり）	以下のいずれかに当てはまる場合。 ・「依頼失敗」「異常終了」のみの場合。 ・「連携なし」と「依頼失敗」もしくは「異常終了」が混在した場合。	10
再変更実施却下	1つでも「再変更実施却下」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	11
キャンセル	1つでも「キャンセル」の連携ステータス（個別）が存在した場合。	12
案件完了	・全依頼の連携ステータス（個別）が「依頼成功」、「正常終了」、「スキップ終了」であった場合。	13

4. 補助資料 1：連携ステータス（業務グループ）更新仕様一覧

「2 連携ステータス（業務グループ）」を一覧表で記します。

		連携ステータス(業務グループ)															
		連携なし	再変更実施 待ち	衣 頼 待 ち	キ ャ ン セ ル	依 頼 待 ち	依 頼 中	(異 常 あ り)	キ ャ ン セ ル	(案 件 完 了)	キ ャ ン セ ル	(異 常 あ り)	案 件 完 了 却 下	再 変 更 実 施	キ ャ ン セ ル	案 件 完 了	
連携ステータス(個別)	依頼待ち	×	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	依頼中	×	-	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	依頼成功	×	-	-	-	-	-	△	×	×	×	×	×	×	×	○	
	依頼失敗	×	-	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
	キャンセル	×	-	-	-	-	◎	◎	×	-	○	×	×	×	×		
	連携なし	○	-	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
	不明	×	-	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
	解除指示待ち																
	解除実施待ち																
	解除依頼待ち																
	キャンセル依頼待ち	×	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	起動成功																
	正常終了																
	スキップ終了																
	異常終了																
	再変更実施待ち	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
再変更実施却下	×	-	-	-	-	-	×	×	-	○	×	×	×	×	×	×	



仕様説明

連携ステータス(業務グループ)は左から優先順位で並んでいます。



仕様補足

連携ステータス(個別)の以下のものは対象外となります。

- ・「解除指示待ち」「解除実施待ち」「解除依頼待ち」はフレーム・ネット・ジョブ一時停止のみで使用されるステータス
- ・「起動成功」「正常終了」「スキップ終了」「異常終了」はランブックのみで使用されるステータス



仕様説明

表中の記号の説明を記します。

- ◎：該当の外部連携ステータス(個別)が必ず1件以上存在。
- ：該当の外部連携ステータス(個別)がいずれか1件以上存在。
- △：該当の外部連携ステータス(個別)が0件以上。
- ×
- ：「連携ステータス」の更新判定に影響しない。

5. 補助資料 2 : 連携ステータス更新仕様一覧

「1 連携ステータス (個別)」を一覧表で記します。

		連携ステータス												
		連携なし	再変更実施待ち	解除待ち	依頼待ち	依頼中	再変更実施却下 (異常あり)	キャンセル (異常あり)	再変更実施却下 (案件完了)	キャンセル (案件完了)	案件完了 (異常あり)	再変更実施却下	キャンセル	案件完了
連携ステータス(個別)	依頼待ち	×	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	依頼中	×	-	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	依頼成功	×	-	-	-	-	-	-	△	△	-	×	×	○
	依頼失敗	×	-	-	-	-	○	○	×	×	○	×	×	×
	キャンセル	×	-	-	-	-	-	◎	-	◎	×	×	○	×
	連携なし	○	-	-	-	-	○	○	×	×	○※	×	×	×
	不明	×	-	-	-	-	○	○	×	×	○	×	×	×
	解除指示待ち	×	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	解除実施待ち	×	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	解除依頼待ち	×	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	キャンセル依頼待ち	×	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	起動成功	×	-	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	正常終了	×	-	-	-	-	-	-	△	△	-	×	×	○
	スキップ終了	×	-	-	-	-	-	-	△	△	-	×	×	○
	異常終了	×	-	-	-	-	○	○	×	×	○	×	×	×
	再変更実施待ち	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
再変更実施却下	×	-	-	-	-	◎	×	◎	×	×	○	×	×	



連携ステータスは左から優先順位で並んでいます。

仕様説明



表中の記号の説明を記します。

◎ : 該当の外部連携ステータス(個別)が必ず1件以上存在。

○ : 該当の外部連携ステータス(個別)がいずれか1件以上存在。

△ : 該当の外部連携ステータス(個別)が0件以上。

×

— : 「連携ステータス」の更新判定に影響しない。

※ : 「連携ステータス」(個別)が「連携なし」のみの場合、連携ステータスは「連携なし」となる。

仕様説明

1.5.3 連携フロー

各 SSA 連携項目の連携ステータスの遷移フローを、依頼が正常に処理された場合を例に下に記します。

連携フロー中の図形について説明します。

図形	説明
	処理の起点と終点です。
	各 SSA 連携項目の連携フローで共通となる処理です。
	連携ステータス（個別）の状態です。 連携ステータス以降に処理が記載されていない場合は、処理の終了を示します。
	処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。
	分岐処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。
	Senju/DC の処理です。
	Senju/EN の処理です。
	Senju/SM の処理です。
	各 Senju Family 製品間の連携処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。



仕様説明

Senju/EN と Senju/SM 間の連携処理が行われるタイミングは以下の通りです。

- ① Senju/EN のサービス「SEN Process Manager」の起動(再起動)時。
 - ② SEN コンフィグレータ の[Senju Service Automation > 高度な設定タブ]の[Senju Service Manager DB 接続情報 > データ取得間隔]で指定した時間毎。
 - ③ AM2 時(システムで固定)
- ※ 承認済みのフレーム・ネット・ジョブに対する依頼は①②のタイミングで行われます。
- ※ 「1.4.7-5 実行システムの情報をコピーする」で選択するマスタ情報の更新は①③のタイミングで行われます。
- ※ 「1.2.3-4 接続先名の設定」の手順で接続先名を追加した場合、マスタ情報の更新は①③のタイミングで行われますが、手動で実行システムの情報を入力した場合はマスタ情報が更新されていなくても①②のタイミングで依頼が実行されます。



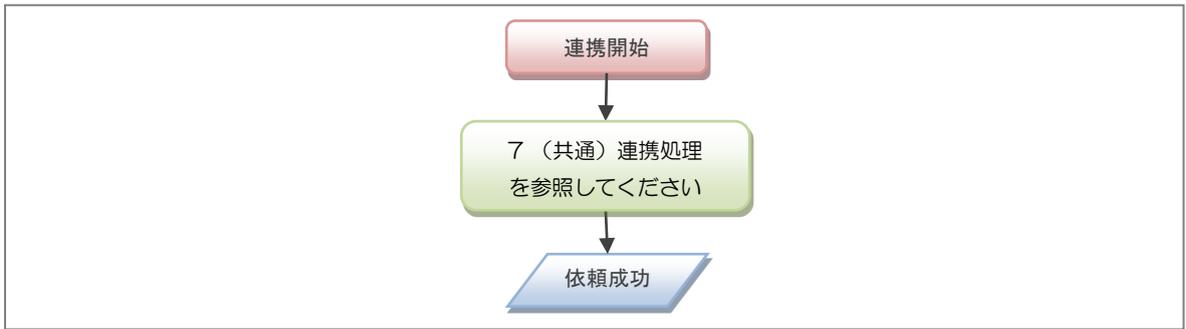
仕様説明



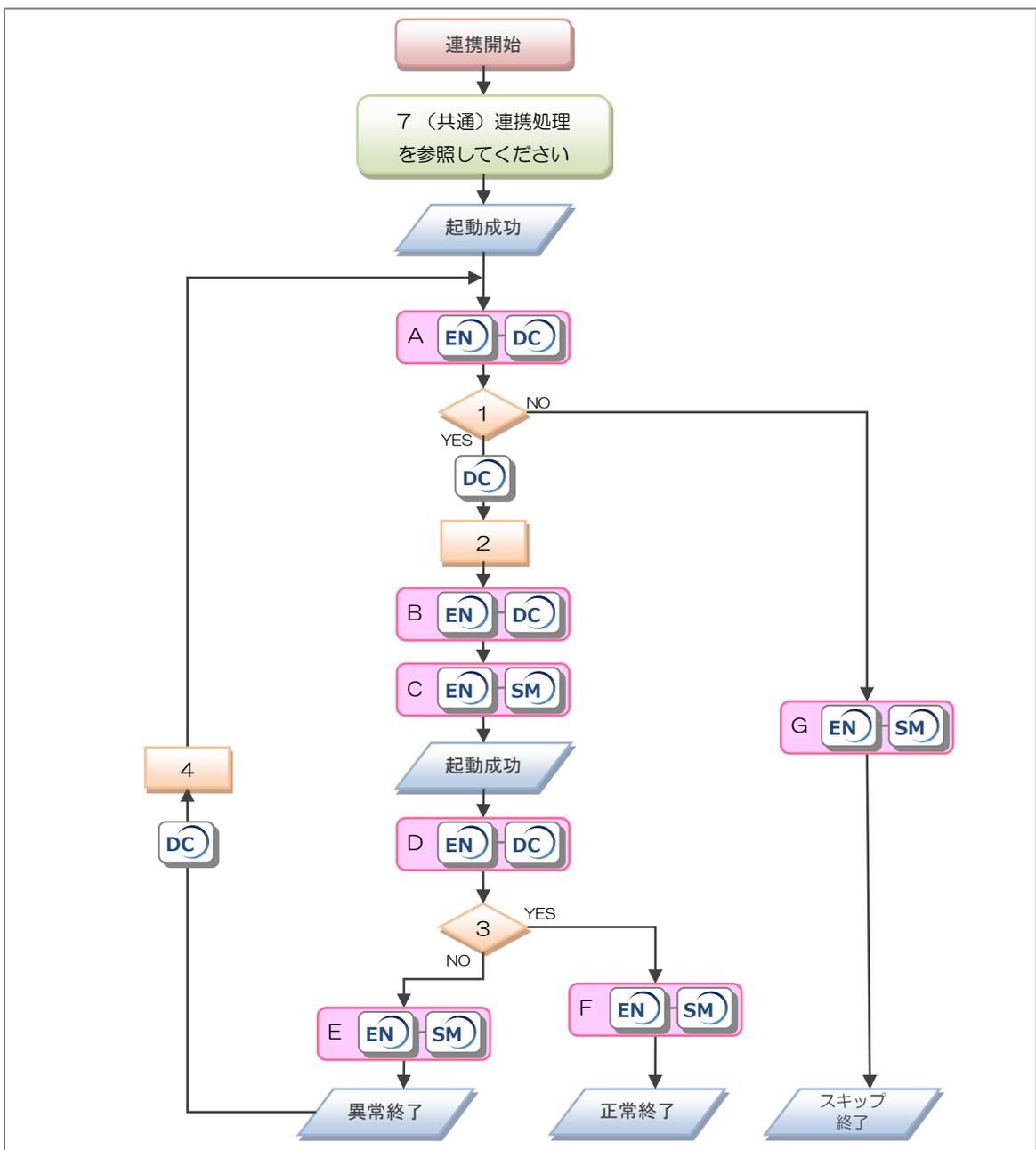
仕様説明

Senju/EN と Senju/DC 間の連携処理については常時行われます。ただし連携処理の実行結果が Senju/SM へ連携されるのは上記、Senju/EN と Senju/SM 間の連携処理のタイミングです。

1. コマンド実行



2. ランブック実行

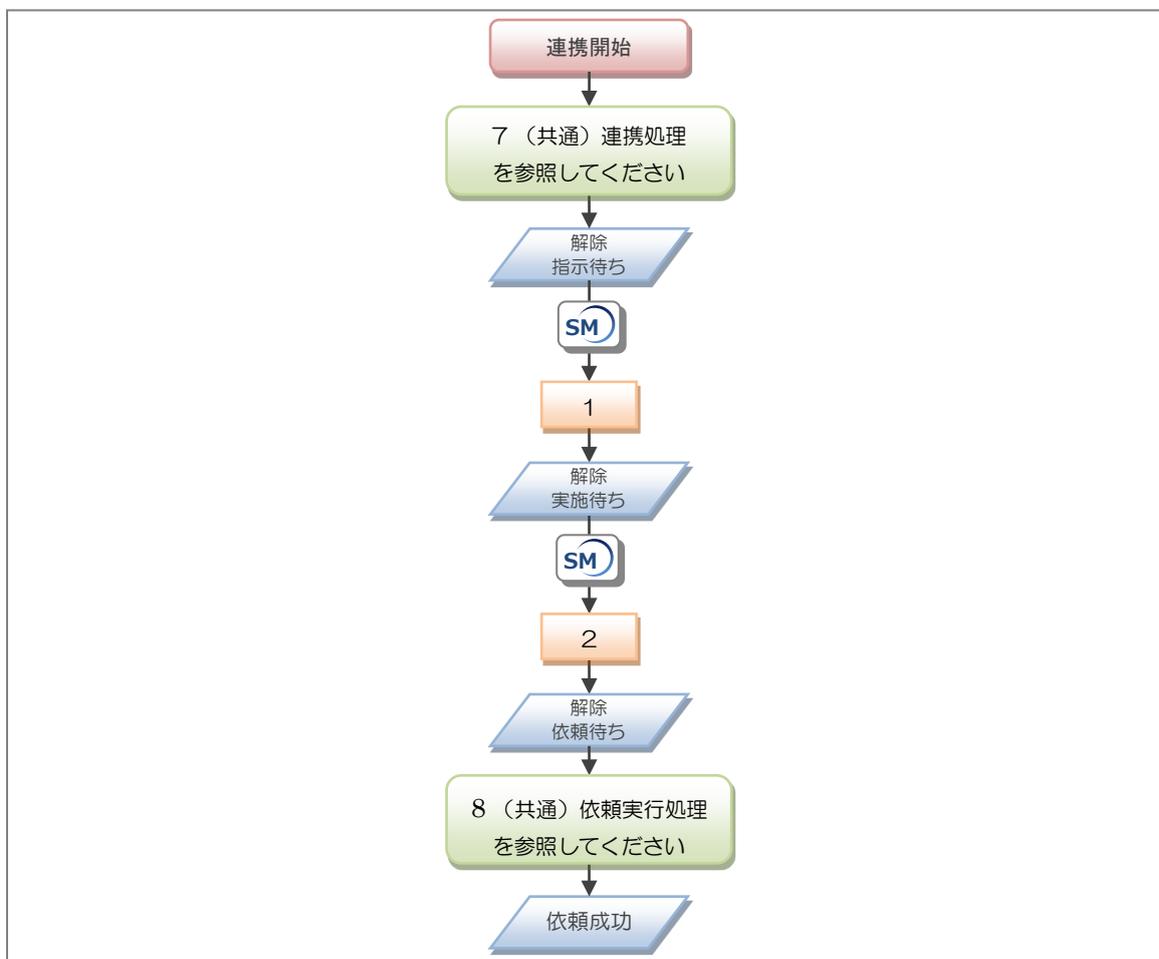


No	処理種類	処理内容
1	分岐処理	Senju/EN はブックの打ち切り時間（Senju/DC 上の項目）が過去日時か。
2	処理	Senju/DC はブックを実行する。
3	分岐処理	Senju/DC はブックの実行に成功したか。
4	処理	Senju/DC 上でランブックの再ランを行う。
A	連携処理	Senju/EN は Senju/DC のブックの打ち切り時間（Senju/DC 上の項目）を監視する。
B	連携処理	Senju/EN は Senju/DC のブックの起動を監視する。
C	連携処理	Senju/EN は Senju/SM の連携ステータスと SEN 実行結果、DC 実行結果を更新する。
D	連携処理	Senju/DC はブックの実行結果を Senju/EN に通知する。
E	連携処理	C に同じ。
F	連携処理	C に同じ。
G	連携処理	C に同じ。

3. フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除

「1 コマンド実行」を参照してください。

4. フレーム・ネット・ジョブ一時停止

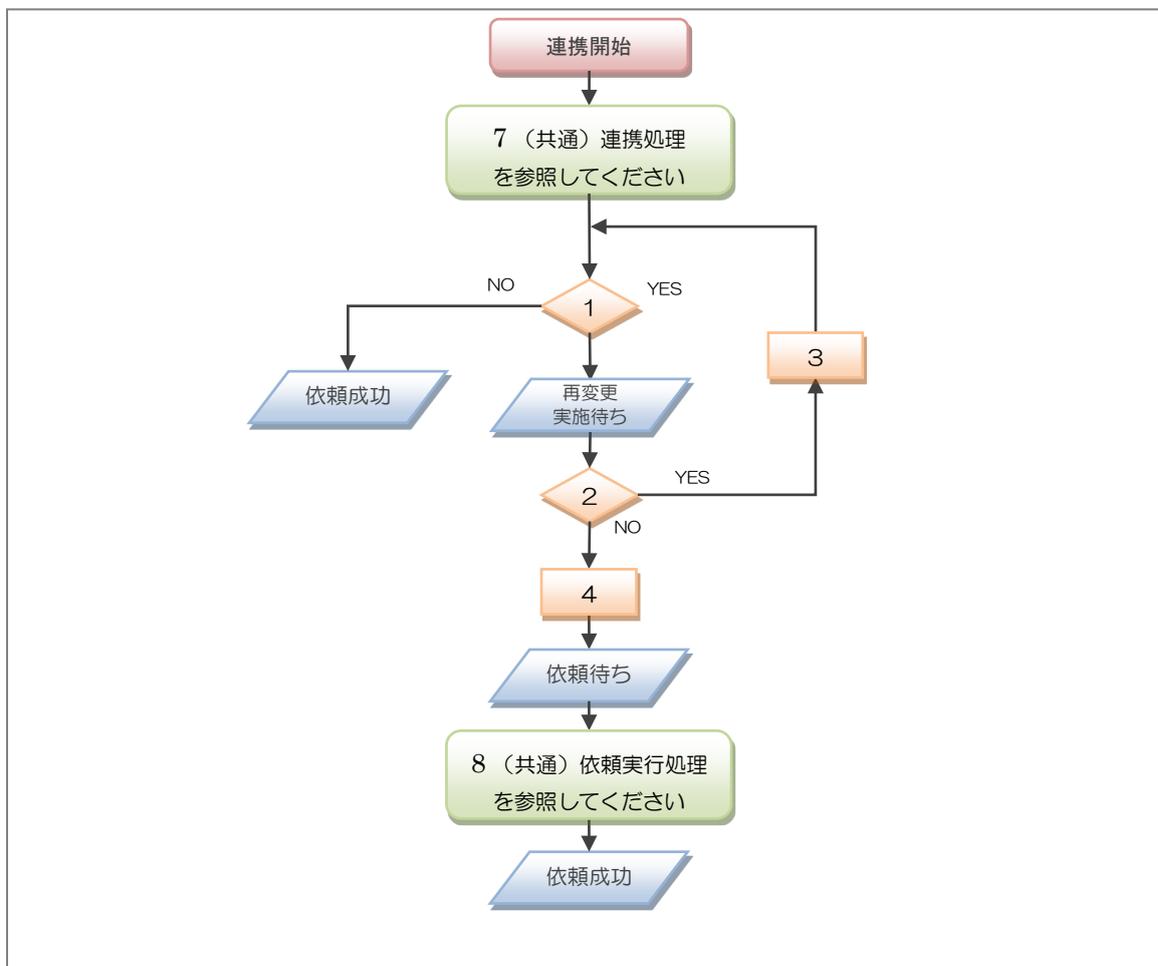


No	処理種類	処理内容
1	処理	Senju/SM で解除指示操作を行う。
2	処理	Senju/SM で解除実施操作を行う。

5. ネット・ジョブ起動時刻変更

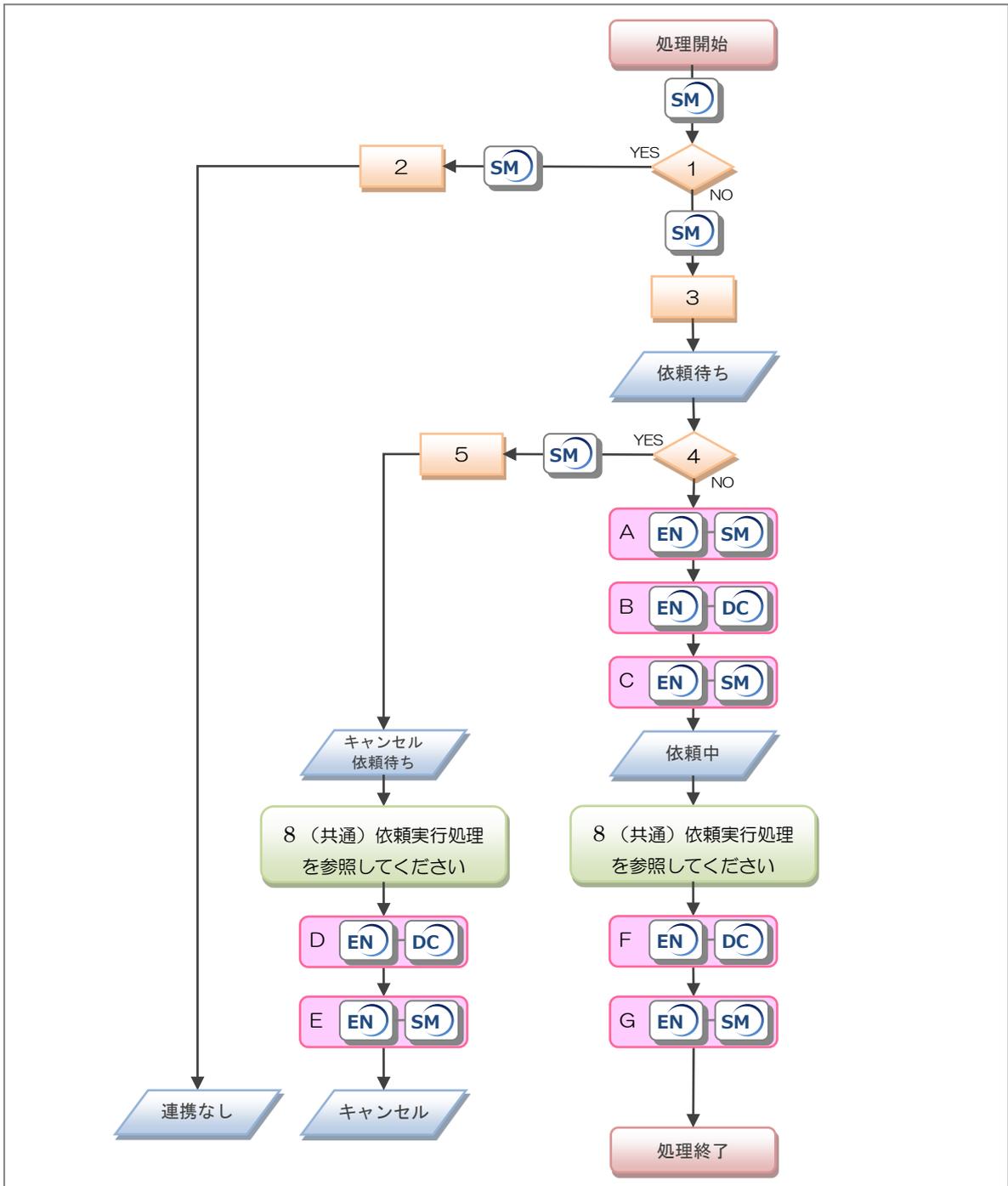
「1 コマンド実行」を参照してください。

6. 業務グループ起動時刻変更



No	処理種類	処理内容
1	分岐処理	Senju/SM で再変更指示操作を行ったか。
2	分岐処理	Senju/SM で再変更却下操作を行ったか。
3	処理	Senju/SM で再変更指示操作を行う。
4	処理	Senju/SM で再変更実施操作を行う。

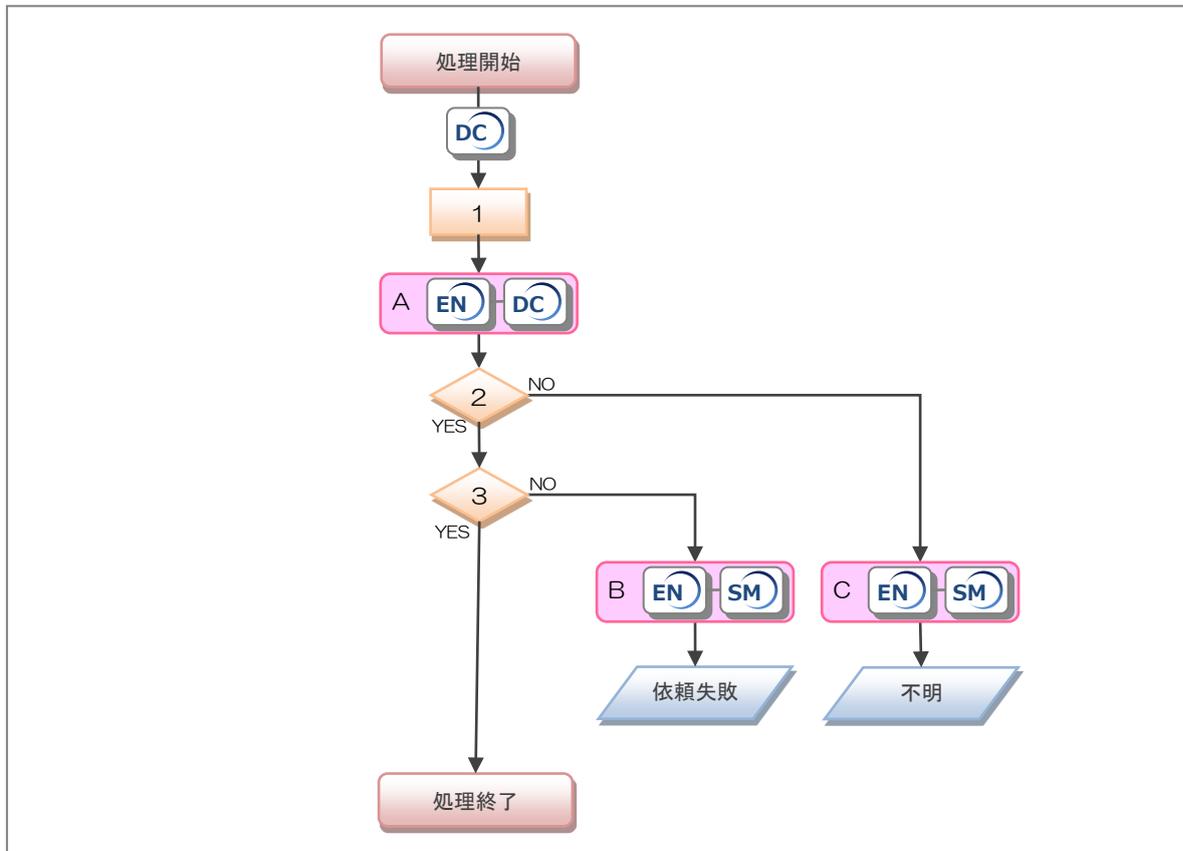
7. (共通) 連携処理



No	処理種類	処理内容
1	分岐処理	Senju/SM は承認フロー完了時に依頼のリミット日時がしきい値を超えているかチェックする。 ⇒本章「1.5.4-10 承認フロー完了時のリミット日時チェック」
2	処理	Senju/SM は連携ステータスを変更する。
3	処理	Senju/SM は連携ステータスを変更する。
4	分岐処理	Senju/SM でキャンセル操作を行ったか。
5	処理	Senju/SM は連携ステータスをキャンセル依頼待ちに変更する。
A	連携処理	Senju/EN は Senju/SM に承認済の依頼がないか監視する。
B	連携処理	Senju/EN は Senju/SM に承認済の依頼があった場合、Senju/DC に連携する。

No	処理種類	処理内容
C	連携処理	Senju/EN は Senju/SM の連携ステータスと SEN 実行結果を更新する。
D	連携処理	Senju/DC は依頼の実行結果を Senju/EN に通知する。
E	連携処理	Senju/EN は Senju/SM の連携ステータスと SEN 実行結果、DC 実行結果を更新する。
F	連携処理	D に同じ。
G	連携処理	E に同じ。

8. (共通) 依頼実行処理



No	処理種類	処理内容
1	処理	Senju/DC は連携された依頼を実行する。
2	分岐処理	Senju/EN は Senju/DC の依頼の実行結果を取得できたか。
3	分岐処理	Senju/DC は依頼の実行に成功したか。
A	連携処理	Senju/DC は依頼の実行結果を Senju/EN に通知する。
B	連携処理	Senju/EN は Senju/SM の連携ステータスと SEN 実行結果、DC 実行結果を更新する。
C	連携処理	Senju/EN は Senju/SM の連携ステータスと SEN 実行結果を更新する。

1.5.4 操作時のチェック仕様

Senju/SM の Web 画面操作時に、Senju/DC で依頼が正常に実行できるように、各 SSA 連携項目に対して各種チェックを行います。

1. 依頼の仮登録時の入力チェック

プロセス新規登録／編集で各 SSA 連携項目に依頼を仮登録／仮更新する際のチェックについて記します。

- フレーム名 = ネット名 かつ ネット指定（ジョブ名が空）の場合、依頼を登録できません。
- フレーム指定（ネット名、ジョブ名が空）の場合、ネット名を省略して、フレーム名・ジョブ名のみ入力した依頼は登録できません。

2. 依頼の仮登録時の運用日付チェック

プロセス新規登録／編集で各 SSA 連携項目に依頼を仮登録／仮更新する際の運用日付チェックについて記します。

- 運用日付が本日を含め 7 日以内の場合、検索画面から検索し取得したマスターデータか、マスターに存在するジョブを入力したときのみ、依頼を登録できます。
- 運用日付が本日より 8 日以降の場合、入力したジョブが Senju/DC の実行システムマスターに存在しない場合でも、依頼を登録できます。



仕様説明

本チェックはフレーム・ネット・ジョブスキップ／解除、フレーム・ネット・ジョブ一時停止、ネット・ジョブ起動時刻変更で行われます。



補助設定

本チェックは以下の設定が「自由入力を許可するが、運用日付が本日を含め 7 日以内はチェックを行う」の場合に行われます。

・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
SSA フレーム・ネット・ジョブ検索結果反映項目の入力制御設定

3. 依頼の仮登録時の重複チェック

プロセス新規登録／編集で各 SSA 連携項目に依頼を仮登録／仮更新する際の重複チェックについて記します。

- 操作指示、親システム、接続先名、運用日付、連携システム、フレーム名、ネット名、ジョブ名が全て同一の依頼が存在する場合、依頼を登録できません。



仕様説明

本チェックはフレーム・ネット・ジョブ一時停止、フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除で行われます。



仕様説明

本チェックは空白の値も対象となります。チェックする項目が両方とも空白の場合、同一と見なします。



仕様説明

本チェックはプロセスの申請状況が申請中または承認済の依頼に対して行われません。却下の依頼に対してはチェックを行いません。



仕様説明

本チェックは連携ステータス（個別）がキャンセルの依頼に対しては行いません。



補助設定

本チェックは以下の設定が「行う」の場合に行われます。

・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通]

管理項目名
SSA 重複チェック制御設定

4. 依頼の本登録時の入力チェック

プロセスのレコードを登録／更新する際のチェックについて記します。

- SSA 連携項目では運用日付が異なる依頼を登録することはできません。



仕様説明

本チェックはコマンド実行、ランブック、業務グループ起動時刻変更では行われません。

5. 依頼の本登録時の運用日付チェック

本項の操作は「1.5.4-2 依頼の仮登録時の運用日付チェック」を読み替えてください。

6. 依頼の本登録時の重複チェック

本項の操作は「1.5.4-3 依頼の仮登録時の重複チェック」を読み替えてください。

7. 承認申請時の運用日付チェック

プロセスのレコードを承認申請する際のチェックについて記します。

- 依頼の運用日時と操作を行った日時を比較し、あらかじめ設定した日数を超過していた場合、承認申請を行えないようにします。
 1. プロセス詳細を表示します。
 2. [承認申請]ボタンをクリックします。
このタイミングで承認申請が行えない旨のアラートが表示されます。
依頼に設定した運用日時を確認してください。



補助設定

チェックのしきい値は以下の設定から変更できます。
・ [管理者メニュー > マスタ > システム > システム]

設定項目名
申請時の運用日付制御設定



仕様説明

本チェックはコマンド実行、ランブックでは行われません。



仕様説明

承認申請後、承認フローを進めた際には本チェックは行われません。

8. 承認申請時のリミット日時チェック

プロセスのレコードを承認申請する際のチェックについて記します。

- 依頼のリミット日時と操作を行った日時を比較し、あらかじめ設定した時間を超過していた場合、承認申請を行えないようにします。
 1. プロセス詳細を表示します。
 2. [承認申請]ボタンをクリックします。
このタイミングで承認申請が行えない旨のアラートが表示されます。
依頼に設定したリミット日時を確認してください。



補助設定

チェックのしきい値は以下の設定から変更できます。
・ [管理者メニュー > マスタ > システム > システム]

設定項目名
申請時のリミット日時制御設定



仕様説明

本チェックはコマンド実行、ランブックでは行われません。



仕様説明

承認申請後、承認フローを進めた際には本チェックは行われません。

9. 承認申請時の重複チェック

本項の操作は「1.5.4-3 依頼の仮登録時の重複チェック」を読み替えてください。

10. 承認フロー完了時のリミット日時チェック

プロセスのレコードで進行中の承認フローが完了した際のチェックについて記します。

依頼に設定したリミット日時と承認フローが完了した日時を比較します。

あらかじめ設定した時間を超過していた場合、連携処理を行いません。

本チェックは承認フローの最終ルートが完了した際に行われます。承認フロー自体は完了しますが、チェックがNGとなった依頼については連携されません。

1. プロセス詳細を表示します。
2. 承認フローの最終アクションのボタンをクリックします。
※最終アクションが承認の場合は、[承認]ボタンです。
3. 承認フローダイアログが表示されます。
4. 3.で承認フローの最終アクションのボタンをクリックし、承認フローを完了させます。
5. プロセス詳細が再描画されます。
このタイミングで連携が行われなかった依頼が存在する旨のアラートが表示されます。
連携ステータス(個別)が「連携なし」となっているレコードを確認してください。



補助設定

チェックのしきい値は以下の設定から変更できます。

・ [管理者メニュー > マスタ > システム > システム]

設定項目名
承認時のリミット日時制御設定



仕様説明

本チェックはコマンド実行、ランブックでは行われません。

2 Senju Enterprise Navigator ESP オプション連携機能ガイド

2.1 ESP連携機能の概要

ESP 連携機能では、テストやメンテナンスリブートなど一時的に発生する障害メッセージを抑止する Senju Enterprise Navigator ESP オプション の 0 次切り分け条件の登録と自動連携を提供します。

障害メッセージ制御機能では、Senju Service Manager のプロセス管理を使用して 0 次切り分け条件の登録作業を行い、プロセスのレコードの承認時に Senju Enterprise Navigator へ自動的に連携することができます。

また、Senju Enterprise Navigator ESP オプション には、0 次切り分け（メッセージ無視）機能の他に連絡先管理や切り分け条件登録といった 20 以上のメンテナンスメニューが存在しますが、それらの機能を Senju Service Manager からシングルサインオン機能を利用してメンテナンスすることができます。



仕様説明

以降の章を参照する前に「2.5 資料集」の「2.5.1 用語説明」で本機能の説明で使用する用語、及び本機能で利用する項目についてご確認ください。



仕様説明

以降の章では Senju Enterprise Navigator ESP サーバー、Senju Enterprise Navigator をそれぞれ Senju Enterprise Navigator を省略した状態で記載します。

2.2 事前準備

ESP 連携機能を利用する為の事前準備について記します。

2.2.1 Senju Service Manager の設定

ESP 連携機能を使用するための設定を記します。

1. 職責の設定

ESP 連携機能の障害メッセージ制御を利用するにあたり、必要な職責の設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > ユーザー > 権限 > 職責]

- 障害メッセージ制御を実施するユーザーには以下の職責を付与する必要があります。

職責階層	チェックする職責
最上位	プロセス管理
第2階層	任意のプロセス画面
職責	障害メッセージ制御の実施

2. 項目の表示設定

ESP 連携機能を利用するにあたり、必要な項目の表示設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > サービスデスク画面レイアウト]
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > 簡易画面レイアウト]



仕様説明

ESP 連携機能で使用する項目については、Senju Service Manager マニュアルの項目一覧を参照してください。



制限事項

ESP 連携項目の項目名称を変更した場合、メッセージに含まれる項目名称も合わせて変更されます。

3. 項目の名称設定

ESP 連携機能の障害メッセージ制御を利用するにあたり、必要な項目の名称設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > サービスデスク画面レイアウト]
[管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > 簡易画面レイアウト]

- 以下の項目名称を変更します。

変更前項目名称	変更後項目名称
レコード ID	案件番号
タイトル	切り分け名称



仕様説明

項目名称を変更しない場合でも Senju/SM の動作に問題はありませんが、障害メッセージの連携結果として ESP サーバーから返却されるメッセージは変更後の項目名称となります。

4. 項目の入力文字制御の設定

ESP 連携機能の障害メッセージ制御を利用するにあたり、必要な項目の入力文字制御の設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 入力文字制御]

- 以下の項目の入力可能バイト数を変更します。

項目	変更前入力可能バイト数	変更後入力可能バイト数
タイトル	0~200	0~43



制限事項

障害メッセージの切り分け条件チェック、切り分け条件登録チェックでチェックする桁数は、変更後入力可能バイト数となります。

5. 画面ポリシーの設定

ESP 連携機能を利用するにあたり、必要な画面の表示設定を行います。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > ユーザー > 権限 > 画面ポリシー]

- 案件の登録に使用する画面

画面ポリシー階層	チェックするポリシー
最上位	通常メニュー
第2階層	プロセス管理もしくは問合せ・申請
第3階層	任意のプロセスもしくは簡易プロセスの画面

- ESP システムマスタの登録に使用する画面

画面ポリシー階層	チェックするポリシー
最上位	管理者メニュー
第2階層	機能別
第2階層	外部ツール連携
第3階層	ESP システムマスタ管理

6. 接続先名の設定

障害メッセージの登録を行う際にはプロセス管理のコード「接続先名」を事前に登録する必要があります。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > マスタ > コード]

接続先名に登録するコードの値は「2.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」を参照してください。

7. ESP システムマスタの設定

障害メッセージの登録を行う際には「ESP システムマスタ」を事前に登録する必要があります。

以下の画面から設定を行ってください。

設定画面
[管理者メニュー > 機能別 > 外部ツール連携 > ESP システムマスタ管理]

ESP システムマスタの接続先名に指定するコードの値は「2.5.1-2 Senju Service Manager の Web 画面項目」の「接続先名」を参照してください。



仕様説明

ESP システムマスタについては Senju Service Manager マニュアルの管理ガイドを参照してください。

8. 承認フローの設定

ESP 連携機能は承認申請機能を利用します。

事前に ESP 連携機能を利用するプロセスの画面で使用できる承認フローを登録してください。

設定画面
[管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロールート]
[管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロー]

2.3 Senju Service Managerの操作フロー

ESP 連携機能を利用するにあたり基本的な Senju Service Manager の操作フローを記します。
詳細な操作手順については「2.4 Senju Service Manager の操作手順」を参照してください。

2.3.1 凡例

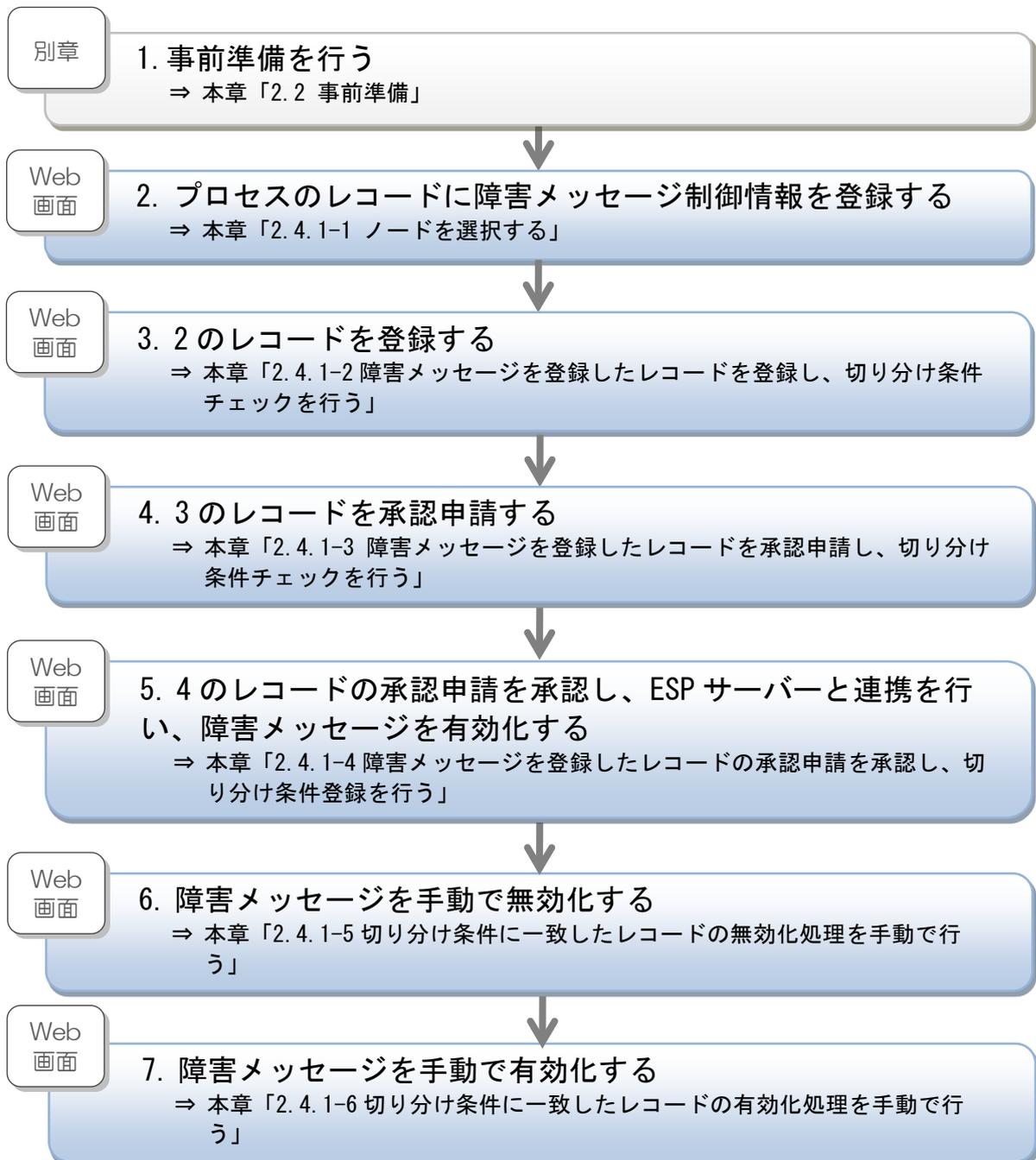
本章中の凡例について以下に記します。

凡例	説明
Web 画面	メンテナンスタブ以外の Web 画面での手順です。
別章	運用ガイドの別章の手順へのリンクです。
コマ ンド	各種コマンドを実行する手順です。

2.3.2 案件を登録し連携を行う

Senju/SM から ESP サーバーへ自動的に申請の連携を行うまでのフローを記します。

1. 障害メッセージ制御



2.4 Senju Service Manager の操作手順

ESP 連携を行う為の Senju/SM の操作手順について記します。

Senju/SM での障害メッセージ制御と ESP サーバーとの連携は、プロセス管理、及び問合せ・申請の画面から行えます。

本章ではプロセス管理での操作を説明しますが、問合せ・申請の画面でも同様の操作です。

2.4.1 障害メッセージ制御

障害メッセージを Senju/SM から ESP サーバーへ連携し、切り分け条件に一致した場合、有効化を行う手順を記します。

1. ノードを選択する

ノードを選択します。

1. プロセス新規登録/編集を表示します。
2. 障害メッセージ制御ブロックの項目「対象ノード」の[]ボタンをクリックします。



3. ノード選択が表示されます。

接続先名、ESP システム名を選択後、任意の検索条件を入力し、ノードを検索します。

項目名 (検索条件)	説明
ノード ID	ESP サーバーで登録したノードの ID で検索します。
ノード名	ESP サーバーで登録したノードの名称で検索します。
千手マネージャを検索対象とする	千手マネージャを含めて検索します。

4. 障害メッセージ制御ブロックの項目「対象ノード」「接続先名」「ESP システム名」に選択した情報が反映されます。

エクステンション情報2

障害メッセージ制御

対象ノード: NODE01:NODE01

接続先名: sjoc01

ESPシステム名: ESPシステム

連携結果:

反映



仕様説明

選択したノード情報はプロセスのレコードの登録／更新を行うまで確定しません。



仕様説明

承認申請後、ノードは選択できません。

2. 障害メッセージを登録したレコードを登録し、切り分け条件チェックを行う

プロセスのレコードの登録／更新を行った時点で、障害メッセージ制御で入力した情報が登録されます。

ESP サーバーとの連携処理を行い、切り分け条件チェックを行います。



仕様説明

切り分け条件チェックの内容については「2.5.3-1 切り分け条件チェック」を参照してください。

3. 障害メッセージを登録したレコードを承認申請し、切り分け条件チェックを行う

「2 障害メッセージを登録したレコードを登録し、切り分け条件チェックを行う」に引き続き、障害メッセージ制御情報を登録したプロセスのレコードの承認申請を行います。

ESP サーバーとの連携処理を行い、切り分け条件チェックを行います。



仕様説明

切り分け条件チェックの内容については「2.5.3-1 切り分け条件チェック」を参照してください。



仕様説明

承認申請機能については Senju Service Manager マニュアルのユーザーズガイドを参照してください。

4. 障害メッセージを登録したレコードの承認申請を承認し、切り分け条件登録を行う

「3 障害メッセージを登録したレコードを承認申請し、切り分け条件チェックを行う」に引き続

き、障害メッセージ制御情報を登録したプロセスのレコードの承認申請の承認を行います。

ESP サーバーとの連携処理を行い、切り分け条件登録を行います。

プロセスのレコードが承認済になり、障害メッセージの有効化処理が完了すると、連携結果が「依頼成功(有効)」に変化します。



仕様説明

切り分け条件登録の内容については「2.5.3-2 切り分け条件登録チェック」を参照してください。



仕様説明

承認申請機能については Senju Service Manager マニュアルのユーザーズガイドを参照してください。

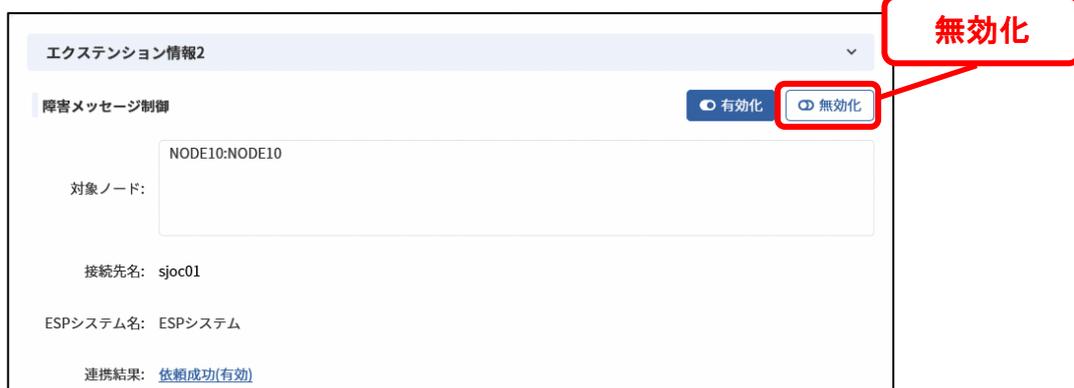
5. 切り分け条件に一致したレコードの無効化処理を手動で行う

切り分け条件に一致したレコードは、手動で無効化することができます。

ESP サーバーとの連携処理を行い、切り分け条件無効化チェックを行います。

ここでは案件を無効化する操作を説明します。

1. 承認済みとなったレコードのプロセス詳細を表示します。
2. 障害メッセージ制御ブロックの右端にある[無効化]ボタンをクリックします。



3. 障害メッセージの無効化確認のメッセージが表示されるので、無効化処理を行ってください。
4. 連携結果が「依頼成功(有効)」から「依頼成功(無効)」に変化します。

エクステンション情報2

障害メッセージ制御 有効化 無効化

対象ノード: NODE01:NODE01

接続先名: sjoc01

ESPシステム名: ESPシステム

連携結果: 依頼成功(無効)

連携結果が「依頼成功(無効)」となる



仕様説明

切り分け条件無効化チェックの内容については「2.5.3-3 切り分け条件無効化チェック」を参照してください。

6. 切り分け条件に一致したレコードの有効化処理を手動で行う

切り分け条件に一致したレコードは、手動で有効化することができます。

ESP サーバーとの連携処理を行い、切り分け条件登録を行います。

ここでは案件を有効化する操作を説明します。

1. 承認済みとなったレコードのプロセス詳細を表示します。
2. 障害メッセージ制御ブロックの右端にある[有効化]ボタンをクリックします。



3. 障害メッセージの有効化確認のメッセージが表示されるので、有効化処理を行ってください。
4. 連携結果が「依頼成功(無効)」から「依頼成功(有効)」に変化します。



切り分け条件登録の内容については「2.5.3-4 切り分け条件有効化チェック」を参照してください。

7. 障害メッセージ情報をコピー登録する

プロセスのレコードをコピー登録する場合に、障害メッセージ情報もコピーすることができます。コピーはプロセスのコピー登録から行います。

1. プロセス詳細を表示します。
2. [コピー登録]ボタンをクリックします。
3. 1.のレコードの情報を引き継いだプロセス新規登録が表示されます。

この時、障害メッセージ制御ブロックの各項目は 1.で登録した項目を引き継ぎます。

入力可能項目名	引継ぎ対象
対象ノード	○
有効期間 (FROM)	×
有効時刻 (FROM)	×
有効期間 (TO)	×
有効時刻 (TO)	×
メッセージ ID	○
発信元プロセス	○
メッセージ	○



仕様説明

障害メッセージ制御ブロックの参照項目のうち、「接続先名」「ESP システム名」はコピー対象です。

4. プロセスのレコードを登録します。



必須設定

以下の画面で、使用するプロセスの画面の項目「対象ノード」「接続先名」「ESP システム名」「メッセージ ID」「発信元プロセス」「メッセージ」をコピー対象としてください。

設定画面
[管理者メニュー > 画面 > コピー項目定義 > コピー登録定義]



仕様説明

対象ノード、有効期間 (FROM)、有効時刻 (FROM)、有効期間 (TO)、有効時刻 (TO) を未入力のまま、プロセスのレコードを登録することはできません。

2.4.2 プロセス管理

2.4.2.1 プロセス一覧

プロセス一覧の検索条件項目を使用して、ESP 連携情報を検索条件にプロセスのレコードを検索できます。

項目名 (検索条件)	説明
連携結果(障害メッセージ制御)	プロセスの障害メッセージ制御項目「連携結果(障害メッセージ制御)」で、障害メッセージ制御を登録したプロセスのレコードを検索します。
有効期間 (FROM)	プロセスの障害メッセージ制御項目「有効期間 (FROM)」で、障害メッセージ制御を登録したプロセスのレコードを検索します。
有効期間 (TO)	プロセスの障害メッセージ制御項目「有効期間 (TO)」で、障害メッセージ制御を登録したプロセスのレコードを検索します。

2.5 資料集

ESP 連携機能全般の仕様について記します。

2.5.1 用語説明

ESP 連携機能の説明に使用する用語について説明します。

1. 文章中の表記

資料の説明中の文言について説明します。

用語	説明
Senju/DC	Senju DevOperation Conductor の略称です。
Senju/EN	Senju Enterprise Navigator の略称です。
Senju/SM	Senju Service Manager の略称です。
ESP 連携項目	Senju/SM のプロセス管理の項目の内、「障害メッセージ制御」のことを指します。
案件	Senju/SM のプロセス管理に登録されたレコードのことを指します。 例えば「案件を登録する」と表記します。
案件の登録	プロセスのレコードの登録／更新を行い、連携する案件を確定することを指します。
案件の申請	Senju/SM に登録した案件を Senju Family 製品に連携することを指します。 Senju/SM の承認申請機能の説明を行う場合は、「承認申請を行う」「承認申請を承認する」といった表記を行います。
連携	Senju/SM で登録した案件が Senju Family 製品で処理されることを指します。主に以下の処理を指します。 ・ Senju/SM に登録した案件の定義を ESP サーバーに連携する。
システム	特に記載がない限り、Senju/SM で言うところのシステムを指します。 Senju/EN で言うところのシステムについては「ESP システム」として表記します。「ESP システム」は Senju/SM の障害メッセージ制御項目の「ESP システム」に当たります。
接続先	特に記載がない限り、Senju/SM で言うところの接続先を指します。 Senju/EN で言うところのマネージャ名が「接続先名」に当たります。
連携結果	Senju/SM の ESP 連携項目の以下の項目を指します。 ・ 障害メッセージ制御ブロックの連携結果
ESP サーバー	Senju Enterprise Navigator 障ナビ・メンテを指します。
障害メッセージ無視	ESP サーバーで行う 0 次切り分け処理を指します。

2. Senju Service Manager の Web 画面項目

Senju/SM の Web 画面項目の一覧表です。

表中の○は該当の画面に存在する項目かを示します。



仕様説明

表の列の略称について説明します。

列名	説明
障害メッセージ制御	プロセス管理の詳細項目の障害メッセージ制御ブロックの項目です。

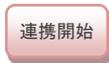
項目名	説明	障害メッセージ制御
対象ノード	ESP サーバーに登録されているノード情報を選択します。	○
接続先名	案件を連携する対象のマネージャ名を選択します。事前にコードマスタ管理でプロセス管理のコード「接続先名」に Senju/EN のマネージャ・ノード管理画面で設定したマネージャ名を登録しておく必要があります。	○
ESP システム名	ESP サーバーに登録されているマネージャ、ノードに紐付いたシステム名を表示します。	○
連携結果(障害メッセージ制御)	ESP サーバーとの連携結果を表示します。	○
有効期間 (FROM)	Senju/DC で作成したシステム、それらに紐づくマネージャ、ノードの障害メッセージが有効な期間の開始日付を入力します。	○
有効時刻 (FROM)	Senju/DC で作成したシステム、それらに紐づくマネージャ、ノードの障害メッセージが有効な期間の開始時刻を入力します。	○
有効期間 (TO)	Senju/DC で作成したシステム、それらに紐づくマネージャ、ノードの障害メッセージが有効な期間の終了日付を入力します。	○
有効時刻 (TO)	Senju/DC で作成したシステム、それらに紐づくマネージャ、ノードの障害メッセージが有効な期間の終了時刻を入力します。	○
メッセージ ID	障害メッセージ無視を行うメッセージ ID を入力します。	○
発信元プロセス	障害メッセージ無視を行う発信元プロセスを入力します。	○

項目名	説明	障害メッセージ制御
メッセージ	障害メッセージ無視を行うメッセージを入力します。ESP サーバーで入力チェック文字列が指定されていて、そのチェック結果がワーニングで表示される設定になっている場合、入力チェック文字列を含むメッセージはワーニングエラーとして表示されません。	○

2.5.2 連携フロー

ESP 連携項目の連携結果の遷移フローを下に記します。

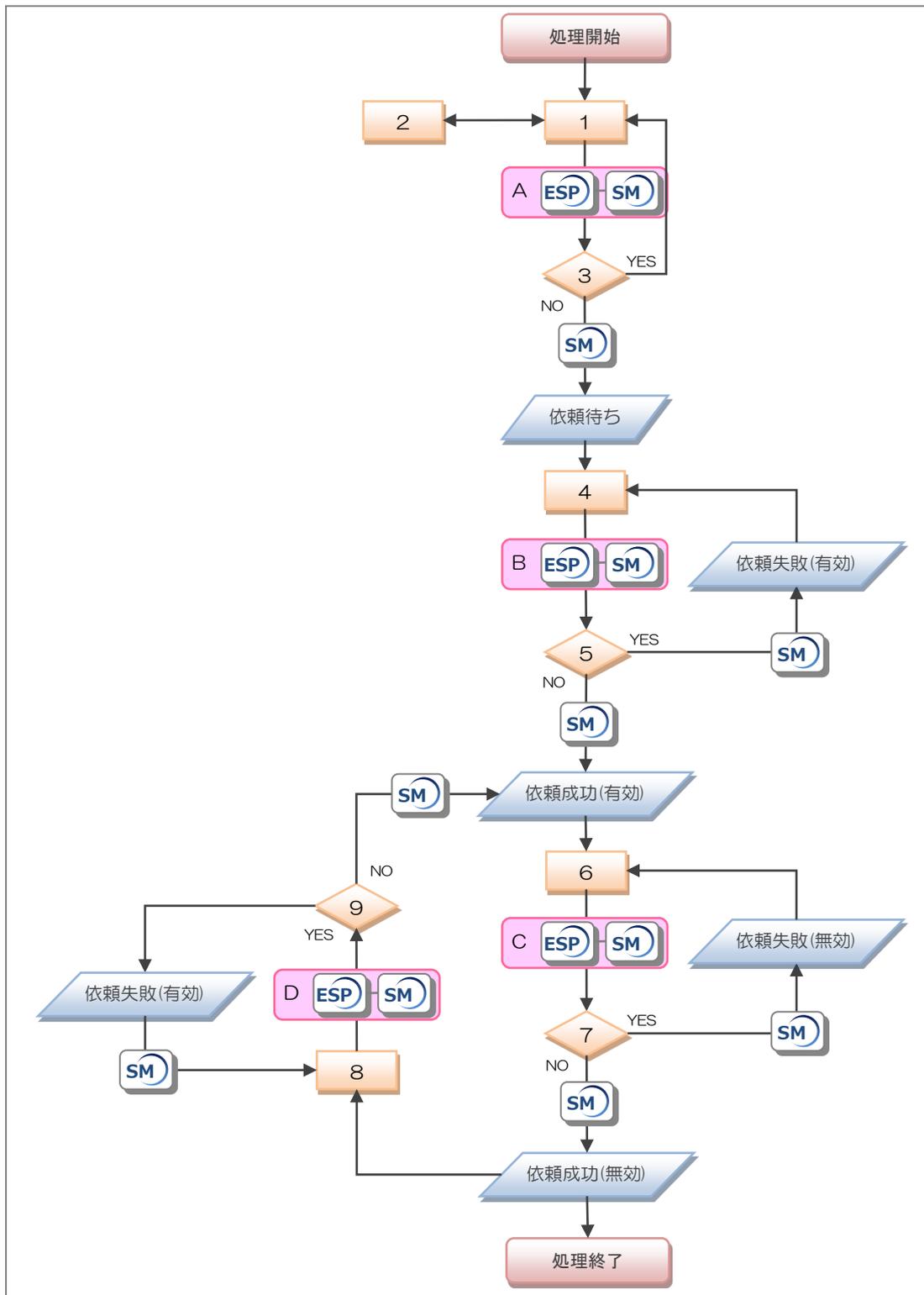
連携フロー中の図形について説明します。

図形	説明
	処理の起点と終点です。
	連携結果の状態です。 連携結果以降に処理が記載されていない場合は、処理の終了を示します。
	処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。
	分岐処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。
	Senju/EN の処理です。
	Senju/SM の処理です。
	Senju/SM と ESP サーバーの連携処理です。 処理内容は各フロー内で説明します。



仕様説明

1. 障害メッセージ制御



No	処理種類	処理内容
1	処理	Senju/SM は障害メッセージ制御の新規登録を行う。
2	処理	Senju/SM は対象ノードの選択を行う。
3	分岐処理	ESP サーバーは切り分け条件チェックでエラーになったか。
4	処理	Senju/SM で承認申請の承認を行う。
5	分岐処理	ESP サーバーは切り分け条件登録でエラーになったか。

6	処理	Senju/SM は手動で障害メッセージ無効化処理を行う。
7	分岐処理	ESP サーバーは切り分け条件無効化でエラーになったか。
8	処理	Senju/SM は手動で障害メッセージ有効化処理を行う。
9	分岐処理	5 に同じ。
A	連携処理	Senju/SM は ESP サーバーに障害メッセージ制御の申請を連携する。
B	連携処理	Senju/SM は ESP サーバーに障害メッセージ制御の承認を連携する。
C	連携処理	Senju/SM は ESP サーバーに障害メッセージ制御の無効化を連携する。
D	連携処理	Senju/SM は ESP サーバーに障害メッセージ制御の有効化を連携する。

2.5.3 操作時のチェック仕様

Senju/SM の Web 画面操作時に、ESP サーバーとの連携を正常に実行する為に、ESP 連携項目に対して各種チェックを行います。

1. 切り分け条件チェック

プロセス新規登録/編集で障害メッセージ制御項目を登録/更新、プロセス詳細で承認申請する際のチェックについて記します。

- 以下のチェック内容に該当する場合、申請エラーとなりプロセスの登録、更新、承認申請ができません。

チェック項目	チェック内容												
必須項目未入力エラー	・対象ノード、接続先名、ESP システム名、有効期間 (FROM)、有効期間 (TO)、有効時刻 (FROM)、有効時刻 (TO) が空白の場合。												
桁数エラー	・以下の項目の桁数を超過しているの場合 <table border="1" data-bbox="705 967 1396 1184"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>桁数(バイト数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案件番号</td> <td>20 バイト</td> </tr> <tr> <td>切り分け名称</td> <td>43 バイト</td> </tr> <tr> <td>メッセージ ID</td> <td>20 バイト</td> </tr> <tr> <td>発信プロセス</td> <td>64 バイト</td> </tr> <tr> <td>メッセージ</td> <td>3998 バイト</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	桁数(バイト数)	案件番号	20 バイト	切り分け名称	43 バイト	メッセージ ID	20 バイト	発信プロセス	64 バイト	メッセージ	3998 バイト
項目名	桁数(バイト数)												
案件番号	20 バイト												
切り分け名称	43 バイト												
メッセージ ID	20 バイト												
発信プロセス	64 バイト												
メッセージ	3998 バイト												
日付フォーマットエラー	・有効期間が日付形式 (YYYYMMDD) ではない場合。												



仕様説明

チェック項目「桁数エラー」の案件番号は Senju/SM のプロセスの項目「レコード ID」、切り分け名称は Senju/SM のプロセスの項目「タイトル」に該当します。



制限事項

ESP サーバーから返却されるエラーメッセージと整合性を取るため、Senju/SM の項目の名称を変更する必要があります。名称の設定は「2.2.2-3 項目の名称設定」を参照してください。



制限事項

チェック項目「桁数エラー」のチェック内容でチェックする入力桁数と整合性を取るため、Senju/SM の入力文字制御の設定を変更する必要があります。入力文字制御の設定は「2.2.2-4 項目の入力文字制御の設定」を参照してください。

2. 切り分け条件登録チェック

プロセス詳細で障害メッセージ制御項目の承認申請を承認する際の ESP サーバーでのチェックについて記します。

- チェック項目は切り分け条件チェックと同じため、「1 切り分け条件チェック」を参照してく

ださい。

3. 切り分け条件無効化チェック

プロセス詳細で障害メッセージの無効化を手動で実行する際の ESP サーバーでのチェックについて記します。

- 以下のチェック内容に該当する場合、無効化エラーとなり障害メッセージを無効化できません。

チェック項目	チェック内容						
必須項目未入力エラー	・対象ノード、接続先名、ESP システム名、有効期間 (FROM)、有効期間 (TO)、有効時刻 (FROM)、有効時刻 (TO) が空白の場合。						
桁数エラー	・以下の項目の桁数を超過している場合。 <table border="1" data-bbox="710 757 1396 869"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>桁数(バイト数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案件番号</td> <td>20 バイト</td> </tr> <tr> <td>切り分け名称</td> <td>43 バイト</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	桁数(バイト数)	案件番号	20 バイト	切り分け名称	43 バイト
項目名	桁数(バイト数)						
案件番号	20 バイト						
切り分け名称	43 バイト						



仕様説明

チェック項目「桁数エラー」の案件番号は Senju/SM のプロセスの項目「レコード ID」、切り分け名称は Senju/SM のプロセスの項目「タイトル」に該当します。



制限事項

ESP サーバーから返却されるエラーメッセージと整合性を取るため、Senju/SM の項目の名称を変更する必要があります。名称の設定は「2.2.2-3 項目の名称設定」を参照してください。



制限事項

チェック項目「桁数エラー」のチェック内容でチェックする入力桁数と整合性を取るため、Senju/SM の入力文字制御の設定を変更する必要があります。入力文字制御の設定は「2.2.2-4 項目の入力文字制御の設定」を参照してください。

4. 切り分け条件有効化チェック

プロセス詳細で障害メッセージの有効化を手動で実行する際の ESP サーバー側でのチェックについて記します。

- チェック項目は切り分け条件登録と同じため、「2 切り分け条件登録チェック」を参照してください。

3 Senju Quick Assistant 連携機能ガイド

3.1 Senju Quick Assistant 連携機能の概要

Senju Quick Assistant 連携機能では、Senju Service Manager の webhook 機能と連携して発生したインシデントのナレッジ情報を Senju Quick Assistant に自動で登録することができます。

3.2 Senju Quick Assistant 連携機能 利用ガイド

Senju Quick Assistant 連携機能の利用方法については、Senju Quick Assistant のユーザーズガイド「2.3.Senju Service Manager との連携」を参照してください。